滿洲日報

對日宣戰ビラを貼り 錦州の開戰熱昂まる

蔣、張兩派の作戰の現はれ

錦州城内外はこゝ數日間對日宣戰の新傳單一面に貼付され開戰熱昂まり來つた、これは張學良が蔣介石氏及、第四回全體會議による對日作戰の現はれで支那側の挑戰的空氣頗る濃厚となつた【奉天電話】

卅四支里に亘る陣地

學良軍は塹壕内に生活中

張學良軍は目下大凌河右岸三十四支里に亘り陣地を構成し兵は塹壕生活をなし、また東地區の增兵加はり溝帮子には六、七百の步兵集團あり、砲兵は高粱を以て遮蔽裝置を施してゐる、因に大凌河の水深更に減じ氷は水面を張りつめてゐる【奉天電話】

錦州軍の配備

張學良軍の日本軍に對する攻擊準備は愈々積極的となり既に新民府、遼陽、營口への進擊を命じたが錦州軍の配備をきくに尖防隊は黃顯聲の便衣隊これに當り、これに孫德荃の第十九旅、盤山、秦安遼中方面へ匪賊討伐に名を藉りて進出、遼隊、海城を衝かんとす、右翼は常經武の第二十旅が營口、遼隊方面に向ひ、中央は黃師岳の第十七旅、溝帮子にあり、新民を衝かんとし、左翼は錦州にある總指揮官于學忠の部下これに當り通遼方面の騎兵第三旅と聯絡をとる、なほ後續部隊は山海關內外に四個旅あり合計七旅であると【奉天電話】

潛伏中の錦州軍に 我軍射擊さる

昨朝高臺子方面にて

わが巨流河部隊砲工各一ケ中隊は廿四日朝同地より西方六粁の高臺子方面へ行軍中午前十時ごろ高臺子山中に潛伏中の優勢なる錦州軍より突然猛射を受け直ちにわが軍はこれに應戰したが、わが軍の死傷者多數の見込、詳細は不明である、なほ新民府附近は排日氣分橫溢し公安隊も支那軍の戰鬪に參加する模樣である【奉天電話】

新民府の邦人危險

新民府よりの情報によれば今二十四日來同地公安隊および巡警の掠奪諸所に行はれ市民商店は何れも戶を閉し交通杜絕してゐるが西南方面には砲聲殷々として止まず邦人は領事館へ避難する途中の危險をおそれ何れも自宅に閉じこもつてゐる【奉天電話】

蔣氏の北上を控へ 一般の空氣險惡化

漸次不安が增大する

【北平二十四日發】蔣介石氏が北上に決したため錦州の形勢頓に重大化しつゝあるが勢ひの赴くところ或は張又は蔣の直屬軍と我駐屯軍との間に不幸なる正面衝突を餘儀なくされるが如き事態を惹起するやも知れずとの不安が漸次增大されるに至つた、現在迄の處河南にある蔣氏の直系軍は未だ何等の準備行動を起してゐない模樣だが一般の空氣は漸次險惡化して來たし曩に滿鐵沿線に潛入せる一萬餘の便衣隊、滿洲各地に散在する一萬五千餘の馬賊と呼應戰備を進めるに至つた結果これ等と我軍との衝突は避け難いが我軍中央部並に關東軍はあくまで戰鬪行爲阻止を方針として居りこのため錦州政府首班榮臻及張學良に對し近く嚴重警告をなし和平維持に絕對必要な或る要求をなすに至る模樣である

錦州政府に抗議せん

平和維持要求

【東京二十四日發】錦州方面の狀勢は錦州部隊の一部は對日挑戰を明白にして滿鐵沿線に出動を開始

昨夜敦化に兵匪襲來し 在留邦人死地に陥る

長春で裝甲列車を準備

二十四日午後十時十分約一千名よりなる兵匪の大集團が突然敦化へ襲來し掠奪虐殺あらゆる暴行をほしいままにしてゐるが同地邦人より至急應援を請ふ旨の通報に接した吉林駐屯軍では、直に長春へこの由通報すると同時に出動準備を整へたが、一方長春においても通報に接すると同時に裝甲列車を仕立て出動準備を急いでゐる、なほ兵匪團は將に敦化縣城を占領せんとしつつあるが、これによつて同地の在住邦人は全く死地におち入るものと見られる【長春電話】

北平在留邦人保護に活躍するわが兵

蔣の北上の日に對日宣戰

【北平二十四日發】當地支那側一般の空氣は蔣介石氏北上の日を以て對日宣戰實行の日となし日支の正式戰端開始は避くべからざるものとなしてゐる、本日の京報は右に就き左の如く論じてゐる

錦州の存亡は我國が果して日本と戰ひ得るやを決する試金石である、そこで吾人は東三省の所謂新政權樹立を監視牽制し一つは以つて元首の資格を以つて我軍の士氣を鼓舞し日本軍の心膽を寒からしめるべきであらう

蔣氏北上準備

南京來電によれば南京の第一師團は近日中に他に移動するもの、如くその軍官の家族は鄕里に歸すべく內定せられ、引越に忙殺され、南京城內及び下關は午後七時以後交通遮斷され蔣介石氏の北上の前觸れとみられてゐる【奉天電話】

飛機六臺を 錦州へ輸送す

錦州より歸來せる者の談によれば張學良は北平より六臺の飛行機を錦州に送り來つたといふが眞僞は不明である【奉天電話】

重油を河南へ

南京よりの來電によれば南京政府の買占めたる重油は悉く河南に送られ開封、鄭州のタンクに收められた【奉天電話】

英米佛武官 錦州へ出發

【天津二十四日發】英米兩公使館附武官は本國政府の命令と聯盟の電報に依り昨夜錦州に出發した、佛武官は同樣今夜出發の豫定である

聯盟分擔金滯納 その大半は支那

同一權限を有するは不當 英下院で問題となる

【ロンドン二十三日發】本日の英下院において保守黨議員の一部は國際聯盟に對する分擔金を滯納してゐる諸國が他の聯盟國と同一の權限を享有する事は不當であるとの抗議が出たが、右に對し外務次官エデン大佐は次の如く言明した

分擔金未納諸國は分擔金減額の運動をしてゐる、投票權の問題は聯盟理事會決定に俟つべきもので英政府は敢て干涉すべき限りでない

因に一九二〇年より一九三〇年に至る聯盟分擔金の未納額は一千四百廿六萬四千金フランの中支那は其大半九百二十二萬七千金フランを滯納してゐる

日支間の直接交渉と 日本軍行動に不干涉

調査委員派遣案の骨子

【パリ二十三日發】其の後判明せる調査委員會派遣草案大要は次の如きものがある

日本軍の滿鐵附屬地原地撤退の可及的速かなる實現を期す

この條項は九月三十日の理事會の決議字句と事實上同じである

委員會は三名の委員より成り他に日支兩國より補助委員を出す

委員會の權限は日支兩國關係に影響ある一切の情勢の調査を進めるにあり

この條項は特に字句に融通性を附與し極めて廣汎な一般的な意義を有し得るものとす、更に委員會が**如何なる方法に依るも日支兩國の直接交渉には干與すべからず乃至日本軍の動きに對して何等の支配干涉を爲すべから**ずその一項を特に附加してゐる

第二項 日支兩國は戰鬪に導き又は人命の損傷をするが如き能動的措置をとらざること

決議趣旨の強調要求

【パリ二十三日發】別項の調査委員會草案は聯盟事務總長ドラモンド氏、事務次長杉村陽太郎博士の起案したもので二十三日朝各理事國代表に內示されたが十二ケ國中には決議案前文の理事會決議趣旨をなほ一層強調すべしとドラモンド總長に要求した

決議修正案回訓

けふ閣議で承認を求め

【東京特電二十四日發】國際聯盟理事會から內示された決議案に對する芳澤大使の請訓は二十四日午後、外務省に到着したが、外務省では直に首腦部會議を開き、回訓案に關し愼重審議の結果に對し修正案を提出するに決定、二十五日午前の閣議で承認を求め芳澤大使に回訓することになつた

支那の回訓を待ち

けふ理事會續行の筈

【パリ二十四日發】十二ケ國會議後ブリアン議長は芳澤大表と會見するところあり、終つてブリアン氏は外務省食堂に全代表を招待して午餐會を催したが理事會としては現下の行詰りを打開する一つの方法として日本軍隊撤退に關し支那側の情報を要求したが、施代表は理事會に對し支那の要求を變更することは到底困難なる旨を確言したが、ともかくも今一應南京政府に回訓を仰ぐこととなつて諒解されたり、その回訓を待つて水曜日午前理事會續行の筈である

若槻首相參內

【東京二十四日發】若槻首相は二十四日午前十一時參內天皇陛下に拜謁を仰付けられ天機を奉伺し聯盟理事會の經過及び帝國政府の態度方針並に支那の情勢一般に就き委曲伏奏の後退下した

施氏護衛嚴重

【パリ二十三日發】支那代表施肇基氏の身邊の護衛嚴重を極め暗くなつてから外務省にブリアン議長を訪問する際等は門扉は固く閉され護衛物々しい

秘密理事會 一時間で散會

【パリ二十四日發】調査員派遣に關する決議原案及び支那側の撤兵要求等を審議すべき理事會十二ケ國秘密會議は廿四日午前十一時十分（滿洲時間午後七時十分）より開會され一時間で散會した

調査委員會構成

英米佛に小國一名

【パリ二十三日發】支那調査委員會の任務につきフランス側は調査委員は任務遂行のため南京、東京、奉天を訪問するであらうといつた、なほ一理事國代表は九國條約調印の小國中一名をも參加せしめんことを提議せんとする意思を持つてゐるから多分調査委員は英米佛三國に加ふるに一小國代表を加へ四名とするであらう、又ブリアン議長はフランスから將軍を任命することは反對で文官を以て之に當てんとの意思を持つてゐる

支那紙血迷ふ

上海來電によれば國際聯盟の調査員派遣決議は支那側に大なる衝動を與へ二十三日上海各新聞は全く啞然たる有樣で排日宣戰の如き觀念は全く挫折しブリアン氏を罵る記事滿載されてゐる、また滑稽なのは日本政府は蔣介石氏の北行せる虛に乘じ大軍を長江に派遣して擾亂を計畫し特に共產軍舊軍閥を使嗾して支那內部を破壞する計畫ありと記述してゐる【奉天電話】

蔣氏の軍費調達に 上海銀行團應ぜず

下野を見越して一蹴

【上海二十四日發】蔣介石氏は宋子文氏をして千二百萬元の軍費の調達をなさしめつゝあるも當地銀行團は蔣介石氏の下野を見越しこれを一蹴した

河北省財政廳 總辭職を決行

【天津二十四日發】河北省財政廳は本日總辭職を決行した、右は張學良から卽時軍費として百萬元捻出を命ぜられたるも排日の徹底により收入皆無を理由として拒絕せるも學良の追求急なるため不滿の意を表明し總辭職したものである

陳濟棠氏引籠

陳濟棠氏は一般の空氣面白からざるにより假病を使ひ廣東の會議を避けた【奉天電話】

罰金前納者には 日貨取引を特許

【上海二十四日發】抗日救國會は經濟絕交徹底のため已むなく罰金前納者に日貨取引を許すと云ふ一種の特許制度を採用するに至つた

これがため日貨を原料とする支那工場俄に活氣附くなど排貨運動も本來の金儲け主義を露骨に表示して來た

擧黨一致して 國難に善處

民政黨幹部會決議

【東京二十四日發】協力內閣問題につき波瀾を捲き起した民政黨は善後策研究のため二十四日午後二時より本部に幹部會を開き各總務顧問、幹事長、幹事等約四十名參集、山道幹事長より

安達內相の聲明は車中談が偶々誤解を生じたのを解かんとする外に他意なくこの點につき若槻首相、安達內相間に諒解濟みである

さて問題の經過を報告した後中村（啓）富田、松田、岡崎その他諸氏より協力內閣につき意見の開陳あり、松田氏は特に擧國一致內閣論を唱へたが結局增田義一氏の提議で左の決議をなし五時半散會した

我黨は既定方針に基き擧黨一致結束して現內閣を鞭撻し國難に善處せんことを期す

內相一變し 一段落

六相懇談會

【東京二十四日發】黨出身閣僚懇談會は二十四日午後六時半、築地錦水に開會、安達、町田、櫻內、田中、原、小泉の六相に川崎書記官長出席協力內閣問題につき懇談した結果現狀維持で進むに意見一致し結局安達內相の態度一變し表面上結束主義の現狀維持に落付き十時半散會した

異端者は除名せよ

井上藏相の硬論

【東京二十四日發】閣僚は安達內相の自重を望み內閣の結束を固めて邁進せんことを希望し居るが、井上藏相のみは異端者は斷然免職せしむると共に民政黨より除名せよとの硬論を有してゐる由で、本日川崎輸長より大阪の井上藏相と閣僚懇談會につき打合せた時も藏相はこの硬論を吐いた由

現狀維持

政務次官申合

【東京二十四日發】二十四日定例政務次官會議は時局につき意見を交換政府は現狀維持を以て進むべしとの申合せを行つた

政友會に働きかけぬ

山道幹事長報告

【東京二十四日發】山道民政黨幹事長は二十四日午前八時安達內相を訪ひ意見の交換を行つたが安達內相は協力內閣に反對するものは非愛國者なりといつた事なしとし閣內黨內を圓く納め今後に處するため進んで黨出身閣僚懇談會を開き意思の疏通を圖りたいと意見一致を見たので若槻首相を訪問し內相の意嚮は首相と齟齬して居るものでなく協力內閣は理想に過ぎずこの爲め直ちに政友會に働きかけるものでないと報告し小泉、田中、町田各相及び川崎書記官長とも懇談した

農安の軍隊 吉林歸屬

長春とハルビンの間農安に駐屯する約六百の支那軍隊は態度極めて不鮮明で危險視されてゐたが、今度吉林省長官熙洽氏の招撫に應じ吉林に歸屬した、給與の足らぬのと四圍の狀況が吉林歸屬が有利と見て態度を鮮明にしたものらしく直に軍費を支給され二十四日長春領事館農安分館に代表が正式挨拶に來たと【長春電話】

顏駐米公使渡米期

【南京二十四日發】駐米支那公使顏惠慶は今朝天津から來京國府委員會に列席し午後は蔣介石と會見二十七日發リンカーン號で渡米すると

「第二の反抗」 廿五日附本紙より第五面に連載します

關東軍出動を 陸相より釋明

【東京二十四日發】關東軍の出動につき若槻首相、幣原外相は憂惧を抱いてゐるので二十四日午後三時半南陸相は首相官邸で兩相と會見し軍の出動は滿鐵線の治安を攪亂せんとした匪賊討賊のためで、錦州攻擊とは關係なく軍としては錦州の支那軍が積極的に挑戰して來ぬ限りこれに對し戰鬪をなす意志なしと釋明同五十分辭去した

參謀本部の 重要會議

田代少將出席

【東京二十四日發】參謀本部は廿四日午前十時から南京より歸朝した田代少將を加へて首腦部會議を開き滿洲に出張中の二宮參謀次長の報告を基礎に重要協議を遂げ散會したが、會議の內容は最近頓みに惡化せる某方面に對する方策を中心に協議したものである

陸軍大將會議

【東京二十四日發】陸軍では二十四日午後三時から恒例の大將會議を開會白川、井上、鈴木（孝）菱刈、渡邊各軍事參議官、中央から南、金谷、武藤各大將以下出席南大將より時局の推移につき說明し對策を協議した

社說

調査會の權限と調査の範圍

平和の基礎を攪亂する事態

國際聯盟理事會は唯一つの問題を殘す事になつた。混合調査委員會派遣決議案の討議である此決議案に對する日本政府の意向は、既に我代表を通じて起草員に申込まれてある筈であるが支那側から反對又は註文ある可く議場多少の波瀾は免かれぬであらう。但し此委員會の性質及び任務に關しては日本側に於て既に確乎たる意見があるから、苟もそれに反する條項を含む時は決議に至らぬであらう。云ふまでもなく此委員會は事件の解決に關しては、其案の作成にも方法にも何等の意見を陳べる事を許さない。若し之れを許すなら干渉になる。始め國際聯盟にては事件に干渉せんとする氣持が可なり濃厚に動いて居たが、日本の絶えざる努力によつて之れを防止して來た。元來國際聯盟は規約第十五條に基く場合のもの外、干渉を事とすべき筋合のものではない。若し聯盟が此本道を離れて干渉を事とするならば聯盟の正當な任務以外に飛び出すのであるから、事件は益々紛糾するのみならず、聯盟自身の破滅の因となる。此れ吾人の屢々警告した所であるが、理事會も時々道草喰ひながら危ふい所で脱線を免がれた。

◇

又委員會は日支兩軍の滿洲に於ける行動に關して批判を挾むべきものではない。正當な批判力を持たねば、適當な解決法を理解する能はざるは云ふまでもないのであつて、吾人は聯盟が正當な批判力を有する事を希望する者であるが、此事は自ら委員會に批判權を與へる事とは意味が違ふ。批判權を揮ふのは裁判又は審査の時に限るのである此れは規約第十三條、第十四條第十五條の場合にのみ許さるべきものであつて、今度の委員會が絶對に左樣な權限を有すべきものでない事は云ふまでもない若し聊かにても左樣な形跡があれば是れ亦聯盟國規約以外に逸出するものである。

◇

此委員會の目的は專ら支那の實情を調査するにある。併し支那の實情調査といふも甚だ廣汎に渉り餘り廣過ぎる時は支那の內政干渉になる。是れ亦國際聯盟の正當にして且必要な權限以外に到る虞れがある。故に其の調査の目的は「兩國間の良好なる了解を攪亂すべき事態」にあると爲すを至當とする。吾人が曾つて、此事件に關する支那の責任を論じた時、支那の對日敵對行動たる所のあらゆる排日行爲が甚だ不穩である。此れが今度の事件を惹起した眞因であるのみならず、事件を益々擴大せしめる原因であると說いた。排日行爲は或は教科書に記載して各學校にて教課事項となしたり必要以上の反友誼的方法を以て排日貨運動を起したり、日本人の生命財產に對する故意的危害を加へたりする事である。それも長久の年月に渉り殆んど永久的に且つ繼續的排日運動である

◇

斯くの如きは明白に國際間の平和を攪亂するものであつてすべての條約の根柢を破壞するものである。此れは國民黨を中心として、之れに迎合する政府及び之れに煽動さるゝ民衆の爲す所である。吾人は此點に關する調査が必要であると考へる。吾人は曾つて斯くの如きは規約第十一條第二項「國際聯盟に影響する一切の事態にして國際の平和又は其の基礎たる各國間の良好なる了解を攪亂せんとする虞あるものに付聯盟總會又は聯盟理事會の注意を喚起するは聯盟各國の友誼的權利なることを併せて茲に聲明す」とあるを引きて日本政府は此條文によりて聯盟に注意を喚起するが至當であると說いた。今度日本代表が此條文を引いて主張したかどうかは不明であるが、調査會の目的としては丁度此の條文を引いてよい。卽ち此の條文に根據するならば國際聯盟の正當な權限範圍內に於て適當な行動が出來る筈である。

◇

滿洲以外に調査の歩を進むべきか否やが問題になつて居る。或は事件を擴大せしめない意味で、滿洲以外に調査の手を延ばすのを避けんとする說が出るかも知れないが、それは誤まりである。事件は滿洲に起つたけれども其原因は寧ろ滿洲以外にある。元來滿洲の事情を知らぬ國民黨が空疎な國權論を振廻して事情に適應しない排日行動を計畫的政策として斷行した事が問題の眞因である。滿洲の歷史實情を知る外に滿洲以外に於ける國民黨の此歷史的行動を知られば問題の核心を掴む事は出來ない。更に此委員會の調査事項と爲す可きは支那の一般的の行政司法の狀態である。此れも甚だ範圍が廣くなるけれども、國民黨の不當不法な行動を調査する場合には是非此點に觸れねばならぬ。而して此の支那政治態樣の一般的不秩序が亦事件の眞因を構成し、且つ容易に收拾する事の出來ない原因である。故に必要な程度に於て又此方面に調査の手を延べれば事件の眞相は分らない。

張景惠氏決意して　愈よ新政權樹立か

幕僚チチハルに瀨踏に乘込む

廿三日チチハルにて　栗栖特派員發

チチハル省城の民衆は日本軍の勢力下に治安を確保せられてゐる、現在の狀況に滿悅し今更張海鵬氏や張景惠氏等の新勢力がチチハルに侵入することを喜んではゐない萬國賓に對しては殆ど省民全部が排斥してゐるが、萬福麟復歸を希望する者は割合に多數である、しかし日本軍撤退後における身邊の危險を考慮し誰一人進んで事に當らんとする者なく商務會を中心にして成立した治安維持會が互に遠慮し合ひながら僅に政務を執つてゐる、馬占山軍はチ、ハル撤退に當つて些の掠奪行爲なく今や克山海倫方面において敗兵を集結しつゝあるが軍律が比較的嚴正で暴虐行爲の少いのは支那軍隊としては珍しいことで敵ながら天晴れである、省民中には馬占山の復歸を希望してゐる者が多數にある、それだけにチチハルに新政權を樹立するには日本軍撤退後における充分の危險と困難を豫想しなければならぬ、張海鵬氏は今のところ殆ど問題にならぬが張景惠氏はやつと決心の臍を固めたらしく今日瀨踏みのため幕僚がチチハルに來り治安維持會と打合せを始めることになつた

ハルビン支那側　遽かに親日態度

敗殘兵の潛入說に今尚不安

滿鐵沿線及び北滿方面視察中圖らず今回皇軍チチハル占據當時ハルビンに居合はせ前後の哈市狀況を目擊した滿鐵地方部中根社會施設係主任は二十三日午前八時着列車にて歸連したが氏は當時の狀況について語る

僕は十八日ハルビンに行つて二十日まで彼地に居たがチチハル占據の第一報が來たのは十九日正午頃であつた、その前日の十八日は在哈支那側軍部首腦部が日本人保護問題について協議したが

排日派が 大多數を占めてゐるので「若し哈市が不穩になつた場合は日本人の保護に任ぜずその儘放置す」といふに決定した、これが早くも日本側の知る處となつて在哈邦人は非常に不安に襲はれ萬一の場合はそれぞれ最後の抵抗を試みる覺悟であつた、支那側新聞は盛んに號外を發行し日支軍激戰、日軍捕虜何名、黑軍大勝と書き立て至る處電柱に一杯はりつけた、一方過般募集した敗殘兵や苦力の新巡警が日本人保護と云ふ名目で日本人町を二十名位づゝ

武裝して 實は示威運動をする、何時どんな襲擊を受けぬとも限らぬ險惡な狀態だつた、それが十九日になつたらガラリと鳴りを靜めさつぱり號外も出ない變だと思つてゐたら皇軍大勝の第一報があつた、さうなると支那側は現金なもので市中は却つて平穩になつて日本人に對して何等示威めいた行動をさらない、處がチチハルから敗殘兵が流れ込むといふので今度は別な不安に襲はれたが、それも大丈夫だといふことになり一同始めて安堵し彼處此處に

祝賀會を 催すといふ有樣でやうやく愁眉を開いた、僕は二十日に彼地を引揚げて來たが途中列車中でも何等迫害も受けなかつた、それでも邦人は車中では中から錠を下して萬一を警戒してゐた

遼寧各學校　近く開校

奉天市政公署長趙欣伯氏はさきに校長會議を開催の上奉天省城內の小學校十九校の開校につき協議したがその豫算等の準備も出來たので二十三日左の如き布告文を發し來る十二月一日より開校の旨を通達した

事變以來省城の教育は責任者なきため各學校とも休學の狀態に陷り青年學徒の學を廢するのやむなきにいたつた、本市長は地方維持委員會の委讓を受け市政を接收せる際先づ教育處を設け開校準備に着手し委員を各校に派遣し調査中のところ既に計畫その機に熟し不日開學に決した【奉天電話】

支那問題委員會　決議案可決

けふ商議大會に上程

【東京特電二十四日發】日本商工會議所第四回は二十五日より三日間に亘り丸の內東京商工會議所に於て開催の筈であるが、これよりさき、二十四日午後三時より支那問題常設委員會が開かれた、出席者內地側委員の外大連田村副會頭篠崎書記長、奉天庭谷商議の諸氏にして、先づ篠崎書記長より滿洲事變の眞相について說明あり、次に北滿に於ける露支關係に關し、ハルビン會議所より要望の件その他四項の報告あり、在滿軍部、滿支在留邦人慰問の件を可決し、左の決議案を可決々定しこれを二十五日の總會にかけ若槻首相他關係大臣、貴衆兩院に提出することになつた

對支問題に關する決議

滿洲事變の解決に當りては滿蒙がわが國の國防上及び經濟上緊密の不可分の關係を有する事實並びに事變發生の眞因が、支那の一般的條約不履行と、排日侮日政策にもとづく事實に鑑み、帝國政府はこの際支那をして嚴かに一切の條約上の義務を尊重せしめ且つ排日教育を根絶せしめ、東洋平和の樹立を期すべし

若しそれ滿蒙に於ける治安維持及び本邦在留民の生命財產の保護に關しては頗る遺憾の點あるを以てすべからく、正義と實力とにより斷乎として帝國權益を擁護するに於て萬遺漏なきを期せざるべからず、國際聯盟に對しては支那の政治上の混亂國際親善を攪亂せんとする現國民政府の非謀並びに條約の蹂躪、國際信義の無視に關する實情と、或は匪賊を煽動し、或は便衣隊を潛行せしめ以て滿蒙の擾亂を企圖進行せしめつゝある實情を暴露し、世界の公論によつて帝國政府の主張の公正なる所以を知らしむるを要す

日本人を敵視した　張學良の侮日政策

一、東北交通委員會の滿鐵壓迫

何故日本は自衞權を發動せねばならなかつたか?……それは吾々在滿邦人にとつてはあまりに明白である、しかし乍らこのあまりにも明白な事實が支那といふ香具師の手を通ると不思議にも領土侵略といふ奇怪な假面をかぶつた化物になつて聯盟の觀客をあッといはせる、最近に至つて世界の輿論はやうやく支那一流の無責任な外交の裏が判つたと見えて言論界は俄に日本を支持するやうになつたかの感がある、けれ共それも支那官憲は完全に秩序を維持する能力がないといふ程度でまだ〳〵實相には觸れてゐない、在滿邦人の生命財產や權益を蹂躪してゐるのは匪賊や暴民ばかりではない、支那官憲自體である、茲數年來政治、外交教育の幹樞を爲す支那の侮日政策そのものであるのだ、東北官憲が如何に日本の權益を蹂躪し排日に狂奔してゐたか?支那官憲がどんな訓令を發してゐたか?本社が本年一月以來調査した處を左に記述する

× ×

東北交通委員會は屢次滿鐵包圍線の敷設建議をしたが一方わが既得權たる滿蒙五鐵道の完成について盛んに反對を唱へ恰も鐵道交渉の開始されてゐる當時であつたので一月九日更めて遼寧省政府に對し

日本帝國主義者が我東三省において五大鐵路建設權を實行せんとするは我方交通の發展連絡を牽制せんとする陰謀にして本件は頗る重要事項に關するを以つて既に早報せる處なるが、我國にも主權あり何國と雖も橫暴陰謀を以つて不法侵略するが如きは斷じて之を許さざる處なれば我方は全生命を以つてしても之を排除せざるべからず

と忠告してゐる

× ×

一方吉林省政府からも三月七日附で吉會鐵道敷設反對の建議をなし

滿鐵測量部においては本國政府の內命を奉じ秘密裡に測量を開始し韓國某地に諸材料を準備し東北省の時局を益々攪亂し好機に乘じ武力行動を以つて一擧に該鐵道を敷設せんと計畫しあり若し本鐵路を敷設せしめんか、滿蒙の諸生產能力は殆ど吸收せられ益々省內疲弊し一朝有事の際は日本の軍事的侵略を促進せしむるものなり、本件に關しては政府において愼重考察し官民一致して之が阻止に努め日本の軍事的經濟的侵略を排擊すべし

と述べてゐるのを見ても日本の條約上の既得權が如何なる運命に瀕してゐたか容易に想像し得やう、この外

一、安徽省黨部執行委員會より東北政府への路權挽回策建議(二月三日)
一、遼寧省政府の國防鐵路敷設訓令(四月十四日)
一、長春教育會の鐵道問題に對する建議(七月五日)

等何れも同趣旨のものでこれらの建議は直にそのまゝ管下各縣長其他に訓令として通達してゐる

× ×

殊に東北政務委員會の如きは去る九月中日本政府は滿鐵會社に命じて特別滿蒙調査委員會を組織せしめ滿鐵を中心とする各種侵略政策を實行せんとしてゐるからとて、管下各團體に秘令し

滿鐵の同會に對抗すべき團體を組織せしめ民衆を喚醒し以て日本が今回實行せんとする商工業鑛業等に關する侵略政策的新事業に對しては反對的態度を持し民衆に宣傳せしめ縣長はその指導の任に當り滿鐵の政策を監視し以つて帝國主義侵略防止の一助とすべし

と訓令してゐる、勿論滿鐵社員會の「滿鐵を中心とせる滿蒙國策の確立」に關する特別調査委員會を曲解したものであらう、かくの如く一方においては日支鐵道交渉に應じながら他方交通委員會が中心となつて鐵道交渉を機會に大いに排日を煽らんとしたもので長春教育會の如きは學生が中心となつて吉會鐵道敷設反對の大々的デモを實行する計畫さへあつたのである

東支白露人　全部一掃

支那の親露策で

【ハルビン二十四日發】ソウエート側は以前より東支鐵道從業員中の露支折半の條項を楯に支那籍白系露人を驅逐して從業員の半數を全部赤系によつて占むべく要求し、支那側との間に懸案となつてゐたが最近北滿時局以來支那側の親露政策の結果、ソウエートの要求を容れ來年一月一日より支那籍白系露人を一掃してその後に赤系を入れることに支那側が承諾したと信ぜられてゐる

聯盟と無關係で　自由に視察する

駐日英武官シ中佐談

【京城特電二十四日發】滿洲事變調査のため赴奉する駐日外國武官一行は廿三日午後七時廿分京城通過北行したが英武官シンプソン中佐は快よく記者に語る

我々の視察は參謀本部から申出があつたので決して本國の命令でなく自由な氣持で行く譯である、從つて國際聯盟なんかとは無關係である、視察の日程は着奉してから定める筈でなるべく各地を見たいと思つてゐる

と語つてゐた、一行は二十四日午後二時半軍部を訪問し忠靈塔に參拜したが奉天には一週間滯在の豫定である、尚一行は諫山少佐ほかアルゼンチンサロベ中佐、英國シムソン中佐、米國マリキイロイ中佐、フランスパロウ少佐、ポーランドドライヒマン少佐等である【奉天電話】

奉天に一週間滯在

一行の案內役たる參謀本部附諫山少佐は語る

案內するから行かないかと當局から話があつたゞけで別に重大な意味はないが一行が正しい觀察をなして吳れれば本懷だ

駐日外國大、公使館附武官の滿洲視察團一行五名は、參謀本部附諫山少佐とともに二十四日午後一時着安奉線急行で來奉した、驛には軍部の平山少佐ほか多數將校その他名士の出迎へあり、貴賓室で小憩の上ヤマトホテルに入つたが諫山少佐は

未だ來た許りでこれから視察のプログラムを立てるわけで所感もない

時局後援會を設立し團結

州內の輿論を統一

在滿日本人時局後援會では時局問題に關し關東州居住邦人の輿論を統一し以て大同團結をなすべき州內協議會は廿四日午後二時三十分から市役所會議室において開催された、出席者は大連側小川會長、岩井、恩田、今村、高塚、吉川、小澤、福田、淺野、齋藤、寶性、旅順側永山市長、金州側松本、普蘭店側永井、貔子窩側長谷川、山口の十六氏それに奉天より萩原氏も參加、小川會長議長席につき先づ淺野氏より時局後援會設立以來の經過を報告し次いで小澤氏は上京運動の經過を報告、金州代表松本氏は金州時局後援會、旅順代表永山氏は對時局旅順市民會の各設立目的および經過を報告、在滿日本人時局後援會の趣旨に贊成を得て旅順、金州、普蘭店、貔子窩にも時局後援會を設立しその地名を冠して時局後援會とし各委員を兼ね大連を中心として互に連絡を保ち協力一致することに申合せ茲に全く州內の大同團結成り同四時二十分散會した

日露小包郵便　協約調印

【モスクワ二十三日發】日本とソウエート聯邦間の小包郵便協約は本日正式調印された

省公報發行

奉天地方維持委員會が省公報なる官報發刊の件は既報したが二十三日遼寧省を奉天省と改正の件と同時に左の如き布告文を發した

今回政權代行しあらゆる命令往復文書及び官吏の任免の件等はすべて省公報によりてこれを發表す、官民新法令發布まで等しくこれを遵守の義務あるものとす【奉天電話】

各縣自治委員　選任方針

奉天省五十八縣中四十七縣は奉天代行政府に恭順の意を現はして來たことは既報の如くであるが各縣には既に自治會開設せられ、自治指導に當つてゐる、尚縣長は縣自治會委員長と稱し各委員は地方農民をもつて當つてゐる【奉天電話】

奇怪な大連人士

大連　一在鄉軍人

◇九月十八日奉天事件の勃發より既に二ケ月に餘り、その間わが忠勇なる軍隊から多くの犧牲者を出し、更にこの時局が如何に進展しゆくか判らず、その前途は吾々に更に一層の覺悟を促してゐるに拘らず、大連人士の時局に對して冷淡な有樣はどうだ、このことは奧地に在る軍隊警察官及び一般邦人の異常な緊張振りに感激して歸る幾多の慰問團の各人が大連に歸來して異口同音に怪しむところだ。

◇去る十一月八日天津事變勃發の際孤立無援に陷らんとしたわが天津の居留民一同が「吾々の犧牲にしてわが滿蒙問題解決の鍵ともならば本望、居留民一同欣然死につくも亦可なり」との悲壯なる決心をなしたと聞くが、わが大連においては去る十五日愛國デーの當日一部のものの熱心なる叫びにも答へることなく僅か五錢の佩章を求むることにさへ惜む人が多かつた、しかもかくの如き人士が深夜までカフエーに陶醉しダンスホールに亂舞してゐる、等しく海外に在るわが同胞にしてこの天津居留民に比してこの大連人士の態度は全く心外にたへない、極寒の夜北滿の曠漠たる戰線に身を忘れて祖國のため同胞のため鋭さる兵士を思ふてなほこのカフエーダンスの餘裕があり得るといふその心情を推測して吾々は慨嘆にたへない。

◇日露の役に次ぐ國家の興廢にも關すべきこの一大國難に直面しつゝある吾等、內地には今燃然なる輿論の沸騰をみてゐるときにおいて滿蒙のしかも地元にゐるわが大連人士は何をおいても奮起すべきである、大連人士は先づこれがためにカフエー、ダンス通ひを熄めよ、しかして軍費の一部を獻金せよ、カフエーやダンスホールの營業者は先づ當分自發的に營業を停止せよ。

時局後援會の　慰問使と代表

在滿日本人時局後援會の常任委員會は二十四日午後四時三十分より市役所會議室に於て開かれた、過般總會の際會長より指名一任となつてゐた奧地派遣軍隊慰問使に就き小川會長より岩井勘六、齋藤驚太郎兩氏を推薦、なほ十二月六日上海に於て開催される在支日本人大會には小澤太兵衞氏が犧牲的に代表者として出席するに決定、同五時二十分散會したが岩井、齋藤兩氏は二十六日朝急行列車で奉天チ、ハルに向け出發の筈

邦人聯合會大連側理事

過般奉天に於て開催された對時局在滿邦人聯合會で決定してゐた大連側理事二十名(內常任理事十名)は二十四日左の如く決定した

▲常任理事　岩井勘六、寶性確成、大內成美、恩田熊壽郞、今村貫一、田邊敏行、相川米太郞、石本鏆太郎、齋藤驚太郎、吉川義章

▲理事　小川順之助、山西恒郞、松山忠二郞、高塚源一、福田顯四郞、仙波久良、高柳保太郞、小澤太兵衞、井上輝夫、淺野虎三郞

法權撤廢尚早

英下院カ氏演說

【ロンドン二十三日發】本日の英國下院で保守黨議員サーチャールス、カイザー氏はソーパン事件につき左の如く述べた

イギリスが支那に治外法權を有する現在斯くの如き不祥事件が起るのであるから愈々法權撤廢の曉には如何なる事件が持上るか測り難い

軍用列車　妨害さる

奉天の便衣隊

二十三日午後五時半、瀋陽驛において積込みを終り匪賊討伐のため奉天驛に向ふ軍用列車が北大營踏切附近にさしかゝるや何者かポイントを異線に轉換してゐたので側線にある貨車に激突し。車輛を大破して鐵道從業員二名、兵二名の負傷者を出した、軍用列車進行約十分前、列車の安全を確保するため保線員のモーターカーを前驅せしめたが右は無事通過してゐる、調査によればポイントの釘を拔取りポイントを轉換し列車を異線に進入してゐるので計畫的列車妨害と認められる、なほこの事故を奉天驛に通報すべくかけつけた歸途數發の射擊をうけたが、幸び無事なることを得た、これらの事實を綜合すればこの行爲は便衣隊が計畫的に根城線の軍用列車運行を妨害せしものと思はれる【奉天電話】

懷德縣廳移轉

先に范家屯派出所勤務巡捕馬春田は懷德縣長に就任したが同地は兵匪の橫行甚だしく事務取扱ひに頗る困難なため公主嶺の商務總會に縣廳を移轉する事となり二十四日午前十時より公主嶺商務總會にて開廳式を擧行した、尚馬縣長の部下十六名は范家屯にて命令を受け待機中であつたが二十三日公主嶺に向つた、懷德縣廳の移轉は商務總會、稅捐局、公安局等協議の結果であつて縣の自治指導委員もこれと同時に引越した【長春電話】

漢口の反日團　漸次姿を消す

【漢口二十四日發】徹底せる排日經濟斷行のため支那商會は却て窮地に陷り商民側の反日運動反對の聲が次第に勝を占め反日救國會の學生、日貨糺察隊が解散されたのを手始めに反日團は漸次姿を消しつゝあり

中谷警務局長北行

中谷關東廳警務局長は奉天に於ける軍部との連絡打合せ用務を兼ね長春、安東其他沿線の警備狀態視察及び警備員慰問のため二十五日朝大連發急行列車にて出張する往復一週間の豫定であると

ばいかる丸船客

【門司特電二十四日發】廿六日大連入港豫定のばいかる丸船客諸氏

海軍々人秋田仁郞、會社重役淡中孝八郞、滿洲軍慰問の東京大學專門學校十三校よりなる愛國學生聯盟代表十四名は明大三輪健兒氏監督となり菰冠り二十五樽を土產として持參渡滿の途についた

人事

▲遠藤眞一氏(滿蒙毛織專務)は社用を帶び廿五日朝八時着急行で來連

▲椎名義雄氏(滿蒙毛織常務)は社用を帶び滯連中の處二十五日朝來連の遠藤專務と社務打合せの上二十五日夜十時發列車で歸奉

▲平野長秀氏(滿蒙毛織技師長)は社用にて來連中の處二十四日夜十時發列車で歸奉

大觀小觀

蔣介石の北上、北平の對日軍事會議東北軍の錦州集結等々、情報櫛の齒を引くが如く支那側の行動愈々以て不穩▲加ふるに鞍山、遼陽等の滿鐵沿線を目指して兵匪、馬賊の行動ますます露骨となり▲在住邦人の生命財產、わが權益等一層脅かさる▲敢て好むにあらざれど此の上は更に我軍の自衞行動の斷行が必要である▲「吠えかゝる犬に石打つ夜寒さかな＝邪道句子」▲それにしても滑稽なるは支那側の歐洲軍隊派遣要請說▲若しそれが事實とすれば語るに落ちる、自ら治安維持の能力なきを暴露せるものといふべく▲同時に日本軍隊の撤退が如何に無謀なるかを立證するものだ▲「凍し夜の軒並暗く表戶堅し＝邪道句子」▲國際聯盟の分擔金未納額一千四百餘萬フランその大半九百餘萬フランの滯納國は支那▲英國保守黨の一部議員いはく「分擔金滯納國が他の聯盟國と同一權能を主張するは不當だ」▲支那クンよッく聞いて置け▲その節「歐洲軍隊の極東派遣費は私の方で支拂します」と支那代表言ふ▲ノメノメと臆面ないにも程がある▲「雪空や電氣ブランで見得をきり＝多狂夫」

市況(廿四日)

株式

內地引暴騰　東新一圓臺

內地主力株の大引暴騰を入れて當市の東新は三圓七八十錢高に引け他株も靡りであつた

後場　◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	一三三	一三四	一三三	一三四
新豆	―	―	―	―
錢鈔	一六六	一六六	一六六	一六六
大新	六〇	六〇	六〇	六〇
東新	二〇二	二三〇	二〇二	二三〇
鐘新	六二	六二	六二	六二

特產

人氣引立ず　大豆續落

後場の定期は依然として銀安も利かず大豆は續落を辿り豆粕は保合豆油は人氣なく低落を示し高粱も又弱保合を呈した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(續落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五〇一〇	五〇一〇	四九六〇	四九六〇
十二月末	五〇四〇	五〇四〇	五〇二〇	五〇二〇
一月末	五一一〇	五一一〇	五一〇〇	五一〇〇
二月末	五一四〇	五一四〇	五一三〇	五一三〇
三月末	五二一〇	五二一〇	五二一〇	五二一〇
出來高	百四十二車			

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一七〇五	一七〇五	一七〇〇	一七〇五
十二月末	一七一〇	一七一五	一七一〇	一七一五
一月限	一七三〇	一七三〇	一七二〇	一七二五
出來高	七萬五千枚			

▲豆油(低落)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一三〇五	一三〇五	一三〇〇	一三〇〇
一月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
三月限	一三三〇	一三三〇	一三二〇	一三二〇
四月限	一三六〇	一三六〇	一三五〇	一三五〇
出來高	九千箱			

▲高粱(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	三〇〇〇	三〇〇〇	二九〇〇	二九〇〇
十二月末	二九〇〇	二九〇〇	二九〇〇	二九〇〇
一月末	三〇〇〇	三〇〇〇	二九八〇	二九八〇
三月末	三一九〇	三一八〇	三一八〇	三一八〇
出來高	十八車			

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)	五〇六〇	五〇三〇
大豆(裸物)	―	―
出來高	五十車	
普通大豆(袋物)	四九九〇	四九五〇
大豆(裸物)	―	―
出來高	五車	
豆粕	一六九五	一七〇〇
出來高	十萬枚	
豆油	一三〇五	一二九〇
出來高	三千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

標金は保合　鈔票弱含

聯盟の態度も好轉して上海標金動かず一般大勢安に押されて後場の鈔票は弱含を辿つた

◇定期後場(單位錢)

期別	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(期近 百三十五萬圓　遠期 二百六十七萬圓)

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 二萬五千圓　銀對洋 二萬四千圓)

商品

麻袋變らず　綿糸強保合

●綿糸　大阪三品大引は前場に比し各限小一圓高を入れたが當市は氣迷ひ閑散

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一〇五四	三〇

出來高　三十梱

●麻袋(出來不申)

奧地市況

現物	▲奉天大洋	五一、四〇
先限	▲開原大洋	一九五、〇〇　一九六、四〇
現物		五一、二〇
當限	▲安東鎭平銀	七一六　七一二

市場電報

特產　▲哈爾濱大豆　▲哈爾濱小麥　[illegible]

東京株式(長期)　東京株式(短期)　大阪株式　橫濱生糸　大阪期米　東京期米　神戶期米　[illegible]

家庭

皆さん人參をたべ盛に日光浴なさい
おもしろいビタミンDのお話
長谷川秀治博士(講演)

ビタミンDと日光浴との關係について述べませう、大體ビタミンDが缺乏せば佝僂病になることが多いのです、私が滿洲に來て感じましたが滿洲の日本人に佝僂病が割合に多いのです、又滿洲の人は顏色が惡く私は最初黃疸かと思つたほどです、元來佝僂病は英國に多く佝僂病を一名イギリス病とさへ呼ばれる位ですが英國は日光の量が非常に少く從つて紫外線が少いのです。

◇

最近になつて獨逸のウインダウス博士がコレステリンと同族體であるエルゴステリンに紫外線をかけるとビタミンDとなることを發見しました、エルゴステリンは麥角やビールの酵母などに含まれてゐるものです、卽ちエルゴステリンに紫外線をかけるとビタミンDが出來るのですが動物體からコレステリンをとつてこれに紫外線をかけてもビタミンDが出來るのです、そこでウインダウス博士がエルゴステリンがコレステリン中に二十分の一%「又はパーセント」含まれてゐることを發見したのです、日本では椎茸にエルゴステリンがたくさん含まれてゐる事が判りましたが之に紫外線をかけてもビタミンDが生じて來ます、獨逸で出してゐるビガントールといふ新藥はエルゴステリンを紫外線にかけたものでビタミンDの製劑ですところが困つたことにはビタミンDの適宜量を決める事は非常に難しいので此を過剰に用ゆるとビタミンD過剰症となつて危險を伴ふ事がありますから、醫師以外のものは用ゐられません。

◇

ところが自然界では實にこの調節はうまく行はれてゐるもので日光の紫外線が我々の身體に當ると我々の身體にあるコレステリンに附着してゐるエルゴステリンがビタミンDに變るのです、幸ひ滿洲ではかくしてビタミンDをつくるべき紫外線が内地より非常に多いのです、ところが滿洲では邦人は夏は外に出るが冬は室内に閉ち籠り日光に當ることが少い、紫外線といふものは硝子を通さないものですから、硝子窓を通して日光に當つても單に暖かいだけで紫外線にかゝることはないのです、殊に滿洲の如き二重窓では紫外線は全く得られません、最近バイタグラスと言つて紫外線を通す硝子が出來てゐるが眼鏡玉二つで十圓もする位の高價なもので到底窓硝子に利用することなど出來ません。

◇

斯く我々の人體にあるエルゴステリンに紫外線があたればビタミンDが出來、卽ち佝僂病などを防ぎ人體營養になくてはならぬDを作るのですが、これにつけても我々は紫外線にあたるべく是非外に出て日光浴をしなければならないことが判ります、特に婦人、子供は外出日光浴の必要があります、女にDが缺乏すれば子供にまで影響して佝僂の子を生み易いことになるだらうと思ひます。

◇

又一方日光に當つてビタミンDが出來すぎて過剰症にならないかといふ心配がありませうが、これはまた自然はうまく調節出來てゐるもので、われ〳〵が日光に當つて色が黑くなるでせう、あれはメラニンといふ色素が出て來るものでそれがビタミンDの過剰を防ぐのです。

◇

ビタミンDがエルゴステリンから紫外線の作用で出るといふことが分つたがその結果又ビタミンAが分りました、瑞典のオイラーといふ學者が發見したのですが人參の中にカロチンといふ赤い色素がある、カロチンにビタミンDを加へるとビタミンAの作用を現はしてくる、Aが鳥目の防止、傳染病に對する抵抗力增進、小人の發育に缺くべからざるものである等の事柄が分ると益々われ〳〵は外に出て日光に當ることの必要なることが判ります、皆さんは明日から人參を食べ盛んに日光に當つて下さい、卽ち營養の問題と戸外生活とはこんなに密接なる關係があるのです。

右は去る十九日開催したる本社主催「講演と映畫の夕」においてなされたる關東廳技師長谷川秀治博士の「滿洲では何故戸外生活は必要なるか」と題して食物と戸外生活との關係に就いての講演のうちビタミンDと日光浴との關係について博士の講演を抄記したものである

口傳へで赤坊に食物を與へるな
こんな危險不衞生極まることはない

食物を 嚙みくだいて小さい赤ん坊に口から口へと食物を與へられるお母さんが相當ありますがこれは不衞生極まる事です、大人は色々の菌を口中に保有してゐても菌に犯されず知らないで過ごす場合が多いのです、良き例を擧げますとチフスに一度犯されると再び罹病しないのですがこれは菌を保有してゐないわけぢやないので口中に菌が潜んでゐるかも知れないのです、この樣な場合お母さんがそれと知らず

心算て 食物を嚙みくだいてやり、その結果小兒は思はぬ病菌に犯されて苦むのです、乳兒に於ては臼齒が生えて初めて消化力が完成するので、前齒はたゞ物を挾む作用をするだけなのですから、前齒だけが生えてゐる場合はわざ〳〵固いものを嚙んでやらなくとも柔かい物とか流動物を與へるやうにし、臼齒が生えて初めて乳兒に相當した食物を與へたらよいのです、感冒に罹つてゐるにも拘らず母親が食物を嚙みくだいて口より口へと食物をうつしてやつたり

可愛い からといつて接吻したりすると抵抗力の弱い赤ン坊などわけなく感冒に犯される事は容易な事です、殊に恐るべきは結核患者である母親でこれは愼まねばなりません、また子供が泣くからといつて乳豆を與へられますが、これも泣くたびに乳を與へるよりはいゝのですがお母さん方はこの乳豆を舐めないやうにされたいのです、この乳首も穴を開けて吸はせますと、空氣を吸ひ込み腸にガスが滯り胃を壓迫し、そのため食事を充分攝る事が出來ず時としては呼吸困難に陷る事もありますから

乳首は ながい間吸はせないやうにせねばなりません、又よくあるのは母乳を與へる毎に乳首に唾液をつけて挿んでは與へられますがこれは前に述べた口から口へ食物をうつされるのと變りはないのです、又人工營養兒に牛乳をやる場合、母親が先づ呑んで見たのち赤ん坊に與へますがこれなども感心できないのです、赤ん坊に乳をやつたのち口中は清潔にしてやらればなりませんが、ガーゼでふいてやりそのため鵞口瘡ができ、傷は廣がり口中は勿論、ひどいのになりますとヂフテリーの樣に咽喉の方にまで擴がり

生命に 關はる事もありますから口中はできるだけ清潔にしてやらればなりませんが、乳兒はうがひができませんのでお湯を度々與へるやうにしたらよいのです、又外出もさせず室の濕度、溫度も相當注意して居るのに赤ん坊が風邪を引いたと不思議がられるお母さんもありますが、これは室内が乾燥し過ぎたため咽喉を惡くし、風邪を引いたと云ふよりも塵埃、煤煙を吸つたために咽喉を惡くし

風邪を 引く乳兒が多いのですから、室内をお掃除する時は窓を開放して掃く前に茶がら、古新聞などを濡らして撒き、その後掃く樣にし上方の埃は雜巾で拭き取るといふやうにし掃除する室に赤ん坊はおかないやうに注意してほしいのです、赤ん坊は一寸風邪を引いても抵抗力が弱いためにずん〳〵惡化し肺炎になりやすいのですから、赤ん坊が風邪を引いたら怠らぬ樣すぐ醫師に診察して手當をせねばなりません

私たち が吸ひ込むところの塵埃は纖毛によつて口外に痰として排出されるやうになつてゐるのですが、小兒な…痰をそのまゝ嚥下するので腸を惡くし消化不良となります、赤…が風邪を引いて腸を惡くするのはこの理なのです、赤ン坊の鼻がつまつたら、オレーフ油を…りの先につけて前の方だけにつけてやりますと油が自然と…クシヤミした場合出て來ます…などでつゝくのは危險ですから素人は棒などは使用しないやうにせねばなりません

雷太郎物語(19)
まさもと作　河野久畫

一　大男は穴にでも這入りたいやうな恰好でしよんぼり頭を下げてゐました。王さまは大層お怒りになりました。

二　「そやつたゝき出してしまへ」と家來に御命令が下ると家來の二三人が太い棒を持つて「王さまの御命令だ、出て行け〳〵」

三　王さまはにこ〳〵しながら雷太郎の方へお向きになつて「近う〳〵」雷太郎は恐る〳〵王さまのお側へ近よりました。

四　「實に感心な腕前だ年は幾つか」「十で御座います」「何、十?して名前は?」「雷太郎と申します」

童話　人間征伐(下)
中溝新一

それだから人間はどこにゐても黴菌軍の包圍攻撃を受けて、隙さへあればどん〳〵殺されてしまひます。黴菌はそれでもこの頃は人間が惡くなつて黴菌軍に負けまいと、一生懸命になつてゐるので、黴菌軍はある日、參謀會議を薄暗い部屋の隅で開きました。例によつてペストの王樣がやをら立ち上つて

「諸君、人間どもゝ、黴菌軍の決死的奮鬪によつて、益々體質の低下卽ちからだが弱くなつて、ばたばた死んでしまふので甚だ愉快であります。だが、人間どもは「產めよ育てよ地に充てよ」などと勝手なれごとを言つて、どん〳〵人間をふやして居ます」

とこゝまで演說をして來ますと

どこからともなく

「おぎやアおぎやアおぎやア」

と赤ちやんのなき聲がしました

それを聞いてペスト菌は眉をひそめながら

「それごらん。この家でも赤ちやんが泣いてゐる位ですぞ。その上人間どもはお陽さまを利用したり、折角ペーチカやストーブで室内の空氣を惡くしてゐるのに、そこへそこへなんて惡智慧をつけるものだから、吾々は實に苦い立場にあります。第一人間どもはこの寒さにも朝早く起きて冷水摩擦だの、ラヂオ體操だの、少し臨つた食物なんか見向きもしない。その上これはいゝあんばいに病氣になつたと思へば、醫者だ、藥だ、あの醫者の顏つきをごらん、眼鏡をかけてひげをはやして、嚙といつたら蛇が蛙を呑んだやうに、あるわ〳〵、藥だ、注射器だ、灌腸器だ、なんだかんだ、どうかして病氣を癒さう、いや病氣に罹らせまいとするんだ。口は禍の門なんて言つてさ、むし齒一本、宥してくれないのだ。その上、齒は朝と晩よく磨けだの、れる前にうがひだの——全くろくなことは教へない。大體新聞だの雜誌なりが餘計なことを教へ過ぎるから、人間が強くなり過ぎるんだ。滿洲日報と、奴、大勢の讀者を持つてゐるのを鼻にかけ、健康週間なんて考へて「轉ばぬ先の健康診斷」だの「あかるい家庭は健康から」なんて宣傳するんだ。どこを見ても惡戰苦鬪は今後一層ひどいことゝ思ふ。諸君は更に負けぬ元氣で、この地球から人間を追拂はうではありませんか」

ペストの王樣の演說は終はりましたが、特に有力軍である赤痢、腸チフス、猩紅熱、痘瘡、ヂフテリー、コレラ、流腦、パラチフス、發疹チフス、再歸熱の黴菌の面々は顏を見合はせて、無理にもつけ元氣を出して居ります。

タタタトター

勇ましい進軍ラッパ、人間の目にこそ見えないが、黴菌軍の力は決して油斷が出來ません。

お口をあいたらお口から、お尻を出したらお尻から、一寸の傷でも、全くどこからでも勇敢に人間の身體の中に這入つて、身體の中にゐる黴菌軍と聯合して、勇敢に人間を殺します

人間が勝つか

黴菌が勝つか、兎に角對手はめちやめちやに數が多くて強いから決してうつかり出來ません。

さ、皆さん、口を結んでしつかりして、ほんとうに人間が萬物の靈長として、身體を強く、すこやかに、黴菌軍に征伐されないやうにしませうね

鐵嶺

青聯支部成立

滿洲青年聯盟鐵嶺支部の發會式は豫定の如く二十二日午前十時より鐵嶺神社に於て小野支部長以下部員四十餘名、有力者多數參列嚴粛なる宣誓式を擧げ小野支部長宣誓文を朗讀し玉串奉奠を終つて散會午後七時より演藝館に於て創立記念大演說會を開催宣言、決議文發表後別項の如く西尾民會長より緊急動議として鐵嶺警察署增員運動建議あり市民の名によつて決議し小野支部長挨拶と所感を述べ小平驛長、佐竹會信、石塚領事等の激勵的祝辭ありて後支部員の獅子吼あり應援として大連の藤武、關利重、鞍山池尻、藤津氏等各支部幹部の熱辯ありて萩尾鮮銀支店長の發聲にて青聯鐵嶺支部萬歲を三唱十一時閉會したるが當日は大連本部を始め沙河口、遼陽、鞍山、奉天、長春、安東、鷄冠山、大石橋其他各支部からの祝電多數あり前途を祝福されて雄々しい産聲を擧げた、支部發表せの宣言並に決議左の如し

宣言

帝國現下の情勢は滿蒙權益問題を樞軸として展開し國論亦茲に集中す

既に皇軍の果斷によつて既得權益を蹂躪せんとする支那軍閥は根柢より覆へされたりと雖も眞の權益は一に我民族の結合によつて確保せらるゝものなることを確信す

茲に吾人は同志と共に敢然蹶起以て世界の平和と滿蒙權益擁護の爲め全力を傾倒せん事を期す

昭和六年十一月二十二日

滿洲青年聯盟鐵嶺支部

決議

吾人は刻下の實情に鑑み左の決議をなす

一、休戰案等の如き退嬰的手段は絶對反對す
一、第三國の干涉は斷じて排撃す
一、速に治安を回復し滿蒙百年の大計を樹立し東洋永遠の平和を期す

昭和六年十一月二十二日

滿洲青年聯盟鐵嶺支部

警官增員請願

青年聯盟鐵嶺支部發會式を好機とし西尾民會長より緊急動議として鐵嶺署員の增員請願が提出され同氏より時局以來署員の不眠不休な努力奧地同胞の避難狀況現地保護不充分なりし爲め甚大な被害を蒙りし事實等詳細な說明があり全市民の名に於て贊同決議されたいと提案し滿場一致可決し決議文の起草委員として萩尾、小平兩氏及久永、本多聯盟幹事指命せられ左の如き決議文を起草滿場拍手を以て可決し關東長官、警務局長、警務主任課長等要路に向つて打電した

青年聯盟鐵嶺支部發會式を機とし鐵嶺全市民の名によつて左の決議をなす

決議

事變勃發以來鐵嶺領事館警察署管內七縣に於ける避難同胞二千に達し被害の甚大其比を見ず

これ現地保護と警備不充分の結果に外ならず、警察官增員の聲あるも未だ實現せざるは遺憾とする鐵嶺管內の現狀は少くとも現在の三倍增員を至當と認む

宜しく御配慮あらん事を切望す

昭和六年十一月二十二日

遼陽

日本人聯合會

奉天と大連の主唱に係る全滿日本人聯合會支部設置問題に付生田友次郎氏が發起人となり廿三日午前十一時半から地方事務所會議室で地方委員、町內各區長、青聯支部在鄉軍人分會その他の有志會合協議の結果滿場一致支部設置を議決し理事には田中地方委員長、細矢鄉軍分會長、吉村青聯支部長、高木居留民會長、青年實業團長、猿渡實政、區長代表安藤周太郎、猿渡源藏、地方有志生田友次郎、滿鐵社員會から一名を推擧することになり午後一時半散會した

飛行隊員來遼

奉天に在る獨立飛行第〇中隊の將士〇〇名は廿三日急行で來遼數日前竣工した着陸場の實地調査をなした

安東

青女生の慰問

安東高等女學校四五年生徒の在安軍憲へ慰問袋贈呈は既報の如くなるが二十一日戶塚同校々長は生徒二名を伴ひ軍部を慰問慰問袋を贈呈したが其の慰問袋の中には生徒よりの慰問狀が入れてあり何れも國の爲めに身命を賭して働く軍人の勞苦を感謝するものであつた

鞍山

新嘗祭大祭式

鞍山神社新嘗祭大祭式は二十三日午前十一時より擧行せられたが一般氏子多數參列し嚴粛裡式典を終了した

海城

負傷兵を慰問

小島小林辻村松並の諸氏は市民を代表二十一日遼陽陸軍衛戍病院に昂々溪附近の戰鬪に於て名譽の負傷をなせる臼井大尉外六勇士を慰問徳島大石橋社會主事は平尾所長代理として同行した

大石橋

警備演習實施

時局に鑑み當地在鄉軍人會大石橋分會に於ては十一月廿六日午後零時半(サイレンを合圖に集合)警備演習を實施することになつた

營口

警備團の演習

營口警備團にては二十二日午後零時半から驛構內に於て野砲に關する教練を行ふた

熊岳城

青聯の講演會

國家の重大なる時局に直面せる昨今滿洲青年聯盟の活躍目醒ましきものある折柄當地同聯盟支部にても時節柄大いに民衆の輿論一致的輿論を換起せんものと二十一日午後六時半より市民クラブ大廣間に於て「時局講演會」を開催、本部理事戲名及び當地二、三の熱士登壇大いに熱烈な雄辯を振ひ聽衆に多大なる感激を與へた

蓋平地委議長

蓋平にては地方委員初會を地方事務所にて開催し正副議長の選擧を行ひ議長に若松周吉氏副議長に山宇三郎氏が當選午後三時より新舊兩委員の慰勞宴をクラブにて擧行午後四時近く散會した

貔子窩

鄉軍臨時分會

貔子窩在鄉軍人分會では二十一日午後一時より警察署振武館で臨時總會を開催し警備隊編成の件役員變更の件等を協議し山口分會長より全滿大會の報告あり同三時閉會したがそれより今回同分會が關東軍より借受けたる銃器の手入等をなして居る折柄復縣東公安分局襲撃の事件あり警察署員は殆ど全部出動してしまつたので當日編成された同分會警備團が直に市街の警備に任じた

警官の總出動

近來隣接復縣方面の空氣惡化し二十一日公安分局襲撃され當地警察署では近來にない召集をなし全員之が警備に任じて居たが同夜九時半頃貔子河會新窰子屯(小屯小王家屯)の太物行商王永年方に各自モーゼル拳銃を所持せる匪賊侵入し小洋十七圓布類(小洋百圓餘)を強奪逃走したが急報により殘留の警官全員を急派し一方貔子窩方面の出動部隊と連絡を取り搜査中であるが未だ縛に至らない

瓦房店

公安隊賭博狩

復縣公安隊にては第九區管內沙包子附近に於て大賭博團が日夜賭賽を爭ひゐるとの情報に接し兵員百五十名を派し大賭博狩を施行する事となり十七日前記村落を包圍して一網に百二十名を逮捕し意氣揚々として引上げた

第二の反抗 (86)

三宅やす子

阿部金剛畫

新らしい生命(五)

借金は、橋本から、十圓、五圓と少し宛、世話になつたのが積つて、かなりな額になる、金の事さへいへば親子の間でも利息を勘定しないでは居られない太吉老人が、返濟のしきれないはした金に綿密な利息を計算して。

「これをどうしてくれる」

と五平に突きつけた時、五平は氣絶するばかりに驚いた。

「旦那！」

待つてくれとも、何とも、五平は口が利けないのだ。

それ以來、まるで、五平は、憑きものにつかれたやうに、借金の事許り、寝ても覺めても苦にやんで、ひまさへあると、ブツ〳〵獨言を云つては、涙を拭いて居た。

水呑百姓が、食はずに働いて、逆立して見たところが、七百圓の金をどうして返濟するあてがあらう。

「あんまりだ。借りた元金は、俺ちやんと覺えてるのに」

五平は齒ぎしりして口惜しがつた。

「金は生きて物をいふものなんぢや。ぢつとして居て働いてゐるいきものぢや。その位の勘定のうさいおぬしでもなからうがな」

太吉は、ニツと笑つて、一錢でも、負けやうとは云はなかつた。

律義者の五平は、每晩夢にも借金の事を見續けた。

「まるで生き乍ら地獄の苦責だ。眠つてる間も、俺ら、借金にせめよせられるがな」

彼の皺が深くなり、持病のぜん息が時候がはりでもないのに、ぜい〳〵彼を苦めた。

「一おもひに橋本の屋敷の中で、首をくゝつてやらうか」

五平は、皺がれた喉を、幾度撫でさすつて見たことか。

「お静が可哀相な——俺が死んだら——お静は、いや應なしに、借金のかたに」

五平は身ぶるひをした。

橋本の若主人、敏衛は、さうからお静に思ひをかけて、時々、それとなく謎のやうにほのめかすのだ。

「借金を待つてやるから——それを俺の手腕にまかせたら、お静な世話させてくれるか」といふやうな意味を度々云つてゐるのだつた。

五平は、右にも左にも向けられない首をひねり通した。

五平の昔の知人で、東京の二流どころの土地で、藝妓屋をはじめて、成功してゐる男が、ひよつくりやつて來た時の話に、お静の器量にほれ込んで、今から舞を仕込んでもすぐに覺えられるから、と信用のありさうな耳よりな話。

五平は、心が動いた。

あの憎らしい橋本一家の鼻をあかしてやるためにも、お静が、立派な藝者になつて、うまくいつたら出世して、くれたら——律義者で通つて來た五平の考へ方はさうまで變つて居た。

緊縮時代!! 味覚の秋!!
只今景品付賣出中
西通り
池田大連支店

禁

夏冬兼用クッシヨン附
籐組椅子
連鎖街銀座通
カノン家具店
電二二三一一番

內科
小兒科
醫學博士
澁谷創榮
X光線完備
入院室閑靜
西公園町春日小學校前
電話六五六五番(隆々)

ワニス
エナメル
ペイント
滿洲ペイント株式會社
大連・上海

家具と装飾
朝日町八
和祥洋行
大連市
電話八四一六番

チチハルの多門師團に 本紙を慰問に贈呈す
飛行機上から戰跡を弔ひつゝ
チチハルにて二十四日 森特派員發

北滿の兇雄馬占山軍を殲滅しチチハルを陷落せしめた第二師團の將士に對するわが滿洲日報社の慰問使として特派された記者は二十三日午後三時チチハル滿鐵公所内に設けられた第二師團司令部に飛行機に積んだ本紙四百部を贈呈すべく赴いた、ひと目でそれと察せられる征旅の慌しさ軍司令部はまさに戰場の縮圖である、上野參謀長は手をさらんばかりに喜んで記者を參謀長室に導き記者が本社の慰問品として持參した本紙を贈呈するや「戰線幾十日、第一番に欲しかつたのは實に滿洲日報であつた これが新聞をみる初めてだ」と滿面に喜びを浮べて本紙を擴げあだかも十七八、二日間の洮昂線の戰鬪の記事を讀み當時最も惡戰苦鬪血戰に次ぐ血戰をもつて漸く拔いた江橋大興の記事をみて當時を思ひ浮べながら流石に感慨にたへぬ面持ちで「わが軍將士の勇躍奮戰もさることながら敵も頑強に抵抗した、君が飛行機から見た通り大興から昂々溪にいたるまでの要害には馬軍は實に立派な塹壕を掘つてわが軍に猛射を浴びせた、突撃また突撃不利な地勢に在つてよくあれだけの敵軍を破ることが出來たと不思議に思ふ位だ、チチハルはわが軍の手によつて治安維持されて人心は毫も不安はない、わが軍は黑龍江省にシッカリした新政權が出來てそれが確立しわが軍から治安維持の任務を渡した上で撤退するやうになると思ふ、將士一同士氣旺盛だ、この旨貴紙を通じて傳へてくれ給へ、戴いた貴紙は多門閣下を始め一同が喜んで拜見しよう」

北滿の地に香煙悲し
昂々溪戰の戰死者葬儀

【チチハル二十三日森義夫特派員發】昂々溪附近の激戰に於て奮鬪血戰の末遂に壯烈な名譽の戰死を遂げた步兵第二十九聯隊陣原特務曹長以下七名の葬儀が二十三日午後三時から領事館裏日本人墓地で行はれた多門第二師團長以下の將星將校を始め在チチハルの知名士多數參列、一望千里の曠野を收める小高い丘に設けられた臨時の祭壇には**生殘つた戰友が心盡しの供物、造花などが供へられる、白木の位牌八個が中央に痛ましくも**在りし日の勇士の面影を墨の色さへ濃く殘されてゐる、僧侶の讀經の聲は肌を刺す寒風のうちに千切れ〳〵に曠原に響く、多門第二師團長以下將兵護國の鬼と化して北滿の壙墓の地に埋まれる英靈に對し謹んで燒香 **平田聯隊長は隊員の悲壯な捧げ銃裡に部下英靈に對ししばし默禱を捧げ**同三時半式を終へた、八つの遺骸は戰友の手で急造された祭壇の傍らの粗末な假火葬場で荼毘に附されたが、折柄朔風吹き荒んで蕭々たる音も悲しく遙かに軍司令部樓上に日章旗の飜へるを見るほかたゞ一望千里の曠原は殘雪の氷佗しく光り夕闇を破る紅の太陽の光さへも悲しく**戰友の遺骸を燒く隊員の心を彌が上にも痛ましめた**

海上に逃げるのを追ひ 賊を殆んど全滅さす
人質の村民三十名を奪還 盧家屯安全となる

盧家屯沙崗間の部落を襲擊した約二百名の馬賊討伐のため大石橋より猪苗代署長以下三十名、瓦房店より佐藤署長以下二十二名の警官が守備隊と共に出動したことは既報の如くであるが、この討伐隊は賊と長時間に亘り交戰午後四時頃終に賊團を擊退、更に西方海岸に逃れ帆船その他で海上に逃亡せんとするものを追ひ討ちして殆ど全滅せしめたが生き殘つた賊は迫砲一門、彈丸多數を遺棄して海上西方へ逃れ去つた、わが討伐隊は一先づ盧家屯に集合午後八時瓦房店に引揚げたが、わが軍に死者なく、瓦房店署の村上巡査が大腿部に貫通銃創をうけたのみであつたが、直に出動中の衞生隊の手當を受けた又人質となつてゐた村民三十名は全部奪ひ返した【瓦房店電話】

飛機で偵察
奉天から遼陽へ 一旦着陸しまた離陸

在奉天飛行機○臺は先發隊として廿四日午前九時遼陽に着陸したが更に第○飛行隊花澤中隊長の指揮する甲式四型○○機○臺は午前十時から十時半までの間に遼陽城西方面の狀況を偵察して着陸した、陸上では時局委員會で歡迎の準備を整へてをり着陸と共に關屋菓子店から花澤大尉に花環を贈呈し關屋地方事務所長は在住民を代表して歡迎の辭を述べ一同シャンペンの乾杯をなし萬歲三唱した、一同は暫く休憩の後同十一時半○機とも更に離陸西方面の偵察に赴いた【遼陽電話】

盧家屯の邦人避難

二十四日午前三時盧家屯、沙崗方面に匪賊五、六百名現はれ近村の邦人家を襲ひ各所に放火し掠奪を始めたので盧家屯の邦人家族十一戸四十名は熊岳俱樂部に避難して來た、午後一時その中間沙崗臺で馬賊千五百名と我守備兵、警官隊と交戰中であり、大石橋より裝甲車を出動せしめる準備をしてゐる、熊岳城の義勇隊は決死の覺悟で警備についてゐる【熊岳城電話】

奉天城內巡察の 警官に發砲
犯人は便衣隊二、三名

廿三日午後十時頃奉天總領事館警察の藤野部長、廣瀨巡査が城內派出所から小西關附近を巡察中突然邦人を狙擊した怪漢あり直に犯人の大搜査をしたが發見せられず犯人は二、三名の便衣隊とみられ三發發砲したが、幸ひに被害はなかつた【奉天電話】

協議事項を附議する
家畜防疫會議

第四回家畜防疫會議は二十四日午前十時より關東廳會議室に於て開會、三浦內務局長の挨拶後本關東長官の告辭あつて三浦內務局長を議長に推し直に議事に入つたが日程を變更し劈頭第二日目の協議事項

一、豚コレラ豫防上適當なる方策に關する件
二、獸皮に依る炭疽傳播防止の對策に關する件（以上農林省提出）
三、內地に於ける炭疽防遏に關する件
四、鮮滿に於ける鼻疽及炭疽に關する件（以上陸軍省提出）
五、牛肺疫補體結合試驗に於ける非特點性反應鑑別法に關する件（以上朝鮮總督府提出）
六、家畜傳染病年報發行の件（以上臺灣總督府提出）
七、家禽ペストに對する豫防方法に關する件（以上關東廳提出）
八、內鮮滿家畜防疫會議申合要項中一部改正の件（以上朝鮮總督府提出）
九、現在の防疫會議の名稱並目的變更の件
十、本會議を最も有意義ならしむる爲會議開催地に於て利害關係密接なる主要問題を纏め提出せしめ之を中心として硏究調査討議を實行する件（以上臺灣總督府提出）
十一、本會議申合要項中一部改正の件
十二、調査硏究課題に關する件（關東廳提出）

を附議委員附託となり次いで各地獸疫流行及豫防狀況の報告をなし午後五時第一日を終つた

昂々溪戰の負傷兵遼陽到着

昂々溪方面の戰鬪に於ける負傷兵三十名は二十四日午後二時二十三分着急行列車で遼陽衞戍病院に還送されて來た【遼陽電話】

傷病者のため救護班編成
旅順の赤十字で派遣

二十四日日本赤十字社本部より滿洲同社委員本部に宛事變に伴ふ傷病者救護の爲め臨時滿洲第一救護班を編成遼陽に派遣方電命あり委員本部では直に非常召集を行ひ目下之が編成中であるが同救護班人員は醫員一名書記一名看護婦長一名看護婦二十名使丁一名合計二十四名で二十七、八日頃までに編成を終り直に赴任する筈

同胞救濟金

かれて大連常盤青年訓練所では在滿同胞鮮人の救濟金を募集中であつたが、二十三日を以て一先づ締切り、集め得た五百二圓四十八錢を同胞救濟金として大連市役所へ贈呈方を依賴した

特產出廻りで埠頭に活氣
營口積出しの船舶が 大連に集まり入港船激增

この數日來大連港入港豫定船がグット增え正に出廻り繁忙期に入らんとしつゝあるが、その尖兵ともみるべきは急激に近海航路船が增加したことでこれは營口より特產を積出してゐた諸船舶がその船首を大連港に廻したことが第一の理由である、卽ち營口における船車連絡は先づ近海郵船連絡の名古屋四日市向同じく橫濱向岡崎汽船連絡が十一月二十日を限り大汽の境向けが十四日同名古屋武豐清水橫濱向けが、十八日を限り同じく神戶大阪向は十九日を限り當分船車連絡を中止した事に起因するが、このため大連に前記近海各港行諸船舶が殺到したものである、同時に營口行の特產は同地の凍結を前にしてすべて南下大連に集中しつゝある

鮮農を保護し無事營口歸任

營口領事館是永書記は十月の初め老爺墨附近に敗殘兵が現はれ同地方居住の鮮人を襲擊するとの報に接したので巡査七名と共に該地に出張し危險を冒しつゝ七日間滯在し鮮人を掩護し收穫をなさしめこれが完了後鮮人百三十六名と共に粳三千石を船に積みこれを掩護しつゝ無事歸營した、この報傳はるや南滿鮮人は是永書記の義行に對し感泣してゐる【奉天電話】

補充警官の採用試驗
受驗者殺到

關東廳では滿鐵沿線治安維持の必要上警官の增員を計畫し之が經費支出に關し目下政府及び滿鐵に對し交涉中であるが、事變發生以來戰死及び傷病等の事故により減員警備手薄となつたに對し至急補充の必要を認め結果差當り六十五名だけを募集することゝなり二十四日午前九時より關東廳警察官練習所に於て試驗を行つた處受驗者三百七十二名の多數に及び係員を面喰はしたが採用標準は體格及健康に重きを置き學力其他も平時と同樣の嚴選によつて採用する方針だと

士氣發揚に資す全滿刀劍大會
各地から名刀集まり 廿八、九日本社樓上で開催

滿蒙の形勢重大なる折柄、國民精神の緊張と士氣の發揚に資するため大連刀劍同好會並びに本社共催の全滿刀劍大會は社告の如く來る二十八、九兩日に亘り本社樓上に開催されるが、時節柄この催しに贊成し大連はじめ沿線各地からも出品希望の申込み多く、出品物中鞍山高畑兼之助氏の無銘備前兼光長、盛景に同じく無銘關孫六、兼元、在銘では大和包眞、大隅守正弘、祐定、水心子正秀等はいづれも定評ある名刀で、殊に哈市輸入組合理事橫田提壽氏出品の古刀一備前友成は約一千年前の作で、鑑定の結果によつては國寶ともなるべきもので、恐らくは本展覽會中の白眉であらうと專門家は推賞してゐるが開會の上の盛況は充分豫期されてゐる

愛國の血を湧かし 小さき國民の純情
大廣場小學校野崎君姉弟が 正直箱に貯めたお金を獻金

正直箱

北滿の風吹き荒ぶ曠原、彈丸下の戰鬪に母國の生命線を死守しつゝあるわが派遣軍將士に對する國民の感激は日增しに增大して、大連でも各團體がそれ〴〵團員を總動員して義捐金、慰問品の募集に熱中してゐるが、その感激の波は無邪氣な小學校兒童にまで愛國の血を湧き立たせてゐるが、大連大廣場小學校五年生野崎淸惠さん同三年生野崎明德君の姉弟はかれて正直箱と名づけて蓄へた時のみ二錢、又は五錢と據金してゐた箱に右の優しい手紙を添へ、二十四日本社へ持參、兵隊さんへあげて下さいと申し出て來た【寫眞は正直箱】

大連よりも寒い〳〵奥にいらつしやる兵たいさん毎日支部の兵たいや、ばぞくとたたかつて大へんおつかれのことと思ひます大連に居る私たちは毎日こうして、無事に學校やその他色々の所に安心して行かれるのも皆兵たいさんたちのおかげと感謝しております、このお金は正直でよいことをした時々お父さんお母さんからいただいたお金です少しばかりですけれどもどうか何かのお役に立てて下さい。これからは益々寒くなりますが御無事であるようにさかげからいのつております　さようなら

十一月二十四日　大廣場小學校　五年生　野崎淸惠　三年生　野崎明德

お小遣の五圓を
大連署へ手紙を添へ

零下三十餘度の北滿で國家のため活躍する軍人や警察官の勞苦に對し心からなる感謝の念を慰問品に託してゐるが二十四日大連署宛に市內三河町二九番地峰惠一子（一〇）さんが次のやうな涙ぐましい手紙を添へてお小遣ひを貯めた金五圓を寄附して來た

私等が毎日安心して通學出來るのも皆奥地の寒い所で御國の爲め戰つて居られる日本の兵隊さんや警察官のお蔭だと思ひます私達はなまけてゐていたくないつてゐる場合ではありません私はそうした方々のお心を慰める爲に十月一日より毎日十錢づゝお母さんから戴いて今日までに五圓の貯金が出來ましたどうぞこのうちから三圓を軍人さんへ、二圓を警察の方へ御送り下さい

署員へ御神符

大連署では鞍山、奉天、開原、撫順地方へ應援に出動してゐる二十餘名の署員の無事を祈り二十四日大連神社から御守りを受けて送附した

軍部で感激

最近又滿鐵育成學校生徒、大石橋小學校兒童等が日々の小遣ひ錢を醵金し各代表者より軍部に持參したが軍部ではこの種の行ひが益々多くなることは戰線に立つ者に取り絕大な力強さを與へるものであると非常に感激してゐる

國立公園內定

【東京二十四日發】二十四日の國立公園委員會で左記八ケ所を國立公園として選定するに內定したが正式發表は來年度に持越される筈である

北海道阿寒湖、十和田湖、日光、富士及び箱根、上高地及び日本アルプス、屋島及び小豆島附近、阿蘇、溫仙、霧島山である

輕油動車妨害

廿四日午後一時九分大連驛發瓦房店行き輕油動車（機關士外山光雄）が同一時十五分大連驛を去る六キロ三五〇五哩宿舍附近に差しかゝつた際下り線上に十九個、上り線上に三十個の線路用礫石が並べられてゐるのを發見急停車して事無きを得沙河口署に屆出でたので同署より豐增司法主任現場に赴き實地檢證を行つたが、去る二十日にも同時刻上、下兩軌道に同樣礫石を並べ列車進行を妨害してゐたものあり最近頻々として大連、周水子間に列車妨害事件あり時節柄嚴重警戒してゐる

美貌の僞女給が 電話で吳服詐欺
連鎖街で驅り捕はる

廿三日午前四時ごろ市內常盤町連鎖街中島吳服店へ「タマミバーだが今女給をやるから錦紗を渡して呉れ」と電話がかゝり間もなく女給風の女が來店して錦紗二四（時價五十圓）を見本にと言つて持ち歸らんとしたが擧動不審なため店員一名が尾行したところタマミバーには行かず人力車にて埠頭方面に赴き更に浪速町の吳服店を片つ端から素見して歩いてゐるのを尾行した店員の屆出でにより追跡した小崗子署の立石刑事が同地丸三吳服店に入つたところを逮捕し本署に引致したが取調べの結果この女は京都府生れ當時市內乃木町十一番地大石鐵男（二七）の內緣の妻市內某旅館女中加藤アヤ子（二〇）と言ひ美貌を種に女給風を裝つては前記の如く電話詐欺を働き餘罪相當あると

牙刻作品展

江蘇人于獻軒氏は牙刻專門家としてその纖細雅致ある細刻を以て知られ、往年大正博覽會に出品して宮內省御買上の光榮に浴したことがあるが、この程來連し來る廿六、七、八日の三日間三越にて作品展覽會を開き象牙の置物、印材、メダル、帶止、カフス釦、ネクタイピン等を卽賣すると

米領事館休館

アメリカ領事館では十一月二十六日は感謝祭に就き休館すると

滿毛の陳列會

車內信濃町停留場前滿蒙毛織直賣所では廿三日から五日間婦人子供服飾陳列會を開催中であるが「工場から需要者へ」を標語とし値段が安いので好評を博してゐる

蒸風呂完成

修繕中であつた中央公園保健浴場の蒸風呂はいよ〳〵完成廿五日から使用さることゝなつた

安樂椅子

長春衞戍病院に收容手當を受けてゐる名譽の負傷者の看護をしたいと申し出る在留婦人が非常に多く、最近では負傷者一名に篤志看護人三名といふ有樣、それでは却て看護される方が迷惑するといふので、結局交代で看護することになつた。

◇

所で負傷者にして見れば後で禮狀の一つも出したいが、こう多勢では名前を憶へることはおろか、誰さへも憶へ切れないといふので希望によつて各看護婦人達は胸に各々の姓名を書いた布切れを附けることになつた。

◇

その名前を附けたことから偶然大島聯隊長夫人が愛國婦人會俱樂部の一員として看護に加はつてゐることが負傷兵にわかり、二度ビックリ、今度は却つて看護を遠慮する始末、困つたのが大島聯隊長夫人、名前を附けてよいのやら惡いのやら、姓名を書いた布切れをタモトに入れたり出したり。

將來の理想へ 善處が緊要
在滿朝鮮同胞に對し 尹大尉から一文を寄せる

關東軍司令部第四課附騎兵大尉尹相弼氏は二十四日滿洲時局に關し鮮人同胞に一言すとの題下に左記の一文を在滿百萬の鮮人同胞に寄せた

わが在滿百萬同胞は懷戀すべき故鄕と親愛すべき親戚と別れ生きんがため遠き異鄕の滿洲に來りて無理なる壓迫と非常なる勞苦と戰ひ死線に彷徨しつゝありしが今回の事變に際し所謂雪上加霜の慘狀に遭遇し今なほ安全地帶を求めて鐵道沿線に向ひ來るもの日毎に增加しつゝありて涙なくしては正視する能はざるところなり、然れども今や當局並に一般の同情が翕然としてこれら同胞に集まり在滿同胞對策問題卽ち避難同胞の救濟、明春よりの農業經營並に罹災同胞の救濟及び將來における保護對策について着々改善企畫に步を進めつゝあり この際わが鮮內二千萬同胞は勿論特に在滿百萬同胞は平靜なる態度と穩健なる言動とをもつて一意將來の理想に向ひ進み當局並に一般より同情を得る如く善處すること緊要なり若し萬一にもわが同胞中に不心得のものありて虎威を藉りて中國人民を壓迫し或は復讎的の感情をもつて中國人民に暴行を加ふる等のことあらんかわが同胞に對する同情忽ち消散するのみならず却つて世界一般に惡しき感情を抱かしめその結果今回の滿洲事變において殺害せられたる數百の同胞並に被害を受けたる數千の同胞もこれがため全く無意味に終るべきをもつてこの際わが同胞兄妹は右の事情をよく玩味し平靜なる態度と穩健なる言動とをもつて一致協力して在滿同胞の問題を有利に解決する如く努力あらんことを切望す

曙の鐘（119）

倉田潮 作　河野想多 畫

日本の土（一）

マリアは木田良子と時のたつのも忘れて語り續けてゐた。

狂信者の祖父の血をうけてゐるためか、かう云ふ話をしてゐると、清く澄んだ快い氣持になるのだつた。彼女にとつて、かう云ふ話は一種の感興だつた。その感興の爲に、自他を忘れ、時を忘却し、更に周圍を失念した。

良子は反對に如何にもして此の少女を己の信念に合流させやうと思つてゐた。いや、對手の心を煽動して燃え上らせたかつた。

しかし、マリアは宗教と云ふ「麻醉劑」に餘りに中毒しすぎてゐた。宣傳も煽動も効果がないばかりか、反對に此の中毒患者は良子をも麻醉狀態に溺れさせやうとして猛烈な逆煽動をやつて來る。

一と晩話し合つた後で全然アジの効力があがらないので、良子は腹を立てゝしまつた。

「マリアさん、あなたは時世と云ふものを餘りに知らなさすぎますわ」と良子は批難の色を正直に顏にあらはして云つた「ロシヤに誕生した科學的ソシアリズムの波が、さうくとして世界の到る處に押しよせて來てゐる此の現代の時世に、餘りに無關心でありすぎますわ」

「いゝえ、私は少くとも『唯物史觀』の大部分には理論的にも贊成してゐるのですわ」とマリアはまるく興味を催したやうに元氣よく云つた。「たゞ唯物史觀を押ひろげて、それだけしか宇宙には眞理がないと云ふ風に考へる人には贊同することが出來ないのです。宇宙とは眞理の米俵が山のやうに高く積んである。マルキシズムもその中の一二粒の眞理はつかんでゐるのでせう」

「では、それでもいいわ。眞理の一粒であるとしてもいいわ。しかし、とにかく眞理をと思つたら、その眞理の爲めに働かねばならない筈ぢやありませんか。眞理と思ふだけで働かないのは餘りにルンペンすぎるぢやありませんか」

「でも私、今の日本の勞働運動は駄目だ、無駄だと思ひますのよ。誰も運動そのものを、己の爲めにやつてゐるんですもの。自分等の身の飾りにやつてゐるんですもの、それに……」

「それに、何です」

良子の怒りは破裂しさうになつた。歳も行かない小娘のくせに、世界の學者が頭もあがらない現代の眞理を、平然と否定し去つて、考慮をさへ費さない。そればかりか血みどろな同志の努力と奮鬪を一種の虛榮心だと云はんばかりの口吻をもらすとは……

「お聞きませう」と良子ははづみ上る息をのみこんで、體をもちもちさせた。「それに、それに何です」

「それに」とマリアは對手の態度なぞは殆ど氣にもとめぬらしく語りついだ。「それに一番間違つてゐることは、マルキシズムと云ふ外國の思想を、そのまゝ少しも訂正せずにこの日本に移さうと云ふ試しさですわ。高山植物を何の裝置もなく平地に持つて來て植たて、よい花は開きません。萎縮してつひに枯れてしまふのは解つてゐますわ。同樣に異國の思想をそのまゝ日本に持つて來たとて、この日本の土にその根がついて立派な花が開くとは思はれません。フランス革命の時にも全歐洲はその思想的波動をうけて、特にドイツやロシアではフランスと同じ革命をしようと目論む人が澤山現れましたが、それは全く實行不可能な空想だつたと云ふことが後に解りました。マルキシズムはロシアには適するかしれませんが、日本には斷然あてはありませんのよ。それをなほ日本にそのまゝ持つて來ようとする人は、ロシアの耐寒家屋を日本に建てゝ、借家人を入れようとするドンキ・ホーテですわ」

「では、何處が、何處が適さないのです」

良子の聲は怒りに顫へた。

けふの放送

大連 JQAK　十一月二十五日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時五十分ニユース

東京 JOAK　十一月二十五日　午後六時三十分

▲講演（靜岡より）「震災一周年に際して」靜岡縣知事鵜澤憲
▲浪花節「眞庭の太刀風」浪花亭愛造
▲義太夫「紙子仕立兩面鑑大文字屋の段」淨瑠璃豐竹駒太夫　三味線鶴澤重造
▲英語講座（テキスト第三十二課）大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン獨奏「プレリユード」カラーチエ作「皇軍に捧ぐ」伊藤十五郎作、伊藤十五郎
▲清元（明烏）淨瑠璃清元喜代見太夫、三味線相生席千枝子
▲尺八五重奏　都山流「清船」一部（清（肥後峰山、堀江主峯）二部（森崎水主帆、鈴木主水）三部（横井岦山）五部（鶴主曉）四部（草崎主山）田鵬山）指揮
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

滿洲日報

發行人 鈴木 編輯人 橋本喜代治 印刷人 木村武雄 發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上增

混合調査委員派遣案　秘密理事會にて可決
けふ日支兩國に内容通告

【パリ廿三日發】本日午前十時五十分開會の聯盟秘密理事會はドラモンド氏起草の支那に對する混合調査委員會派遣の決議案に異議なく零時十分散會した、右決議案は日本提案を基礎とし理事會の意向を加味したもので撤兵とは全く關係ない事となつてゐる、右決議草案は本日午後日支兩國に通告される二十四日午前十一時より更に秘密理事會が開催される事となつた、なほ事務局起草の決議案内容に關し確聞するに右決議案は支那に對する「調査員」に關するもので干渉の權限あるが如き誤解を避くるため「査問委員」とせず特に「調査委員會」としたものと解される、尚決議案が一致採擇を得る見極めのつく迄は公開會議の日取は決定しない

撤兵と調査の範圍
其字句は彈力性を帶ぶ

【パリ二十三日發】本日午前の理事會秘密會議の内容を確聞するにドラモンド、杉村兩氏の起草に成る混合調査委員派遣草案は相當修正された模樣であるが、右の中撤兵と調査範圍の條項は
一、日本軍の撤兵に關する條項は大體九月三十日の理事會決議を基礎とす
一、調査範圍を滿洲外の支那全土に及ぼす件に就ては決議案の字句極めて彈力的で且つ委員會の權限は廣汎なるものとし草案中には滿洲乃至支那の何れをも特に明記してゐないが、苟くも日支今回の紛爭に關聯し充分なる調査を爲し得るが如き融通性あるものとす

撤兵決議案
提出は困難の情勢

混合調査委員派遣案に對しては

【パリ廿三日發】十二ケ國會議は支那調査委員會に關する假草案を審議した結果、支那調査委員會と撤兵問題とを聯關せしめんとする主張强硬なるに鑑み遂に二つの決議案、即ち
一、支那調査委員會決議案
一、撤兵問題決議案
を今明日中に起草し二案を同時に理事會全部をして受諾せしめんとするものにあるものと觀られる、なほ調査員決議案に關しては小國代表は日本政府の主張を制限する事の不可にして獨立の權限をもつべき事を主張し居り、撤兵問題決議案に關しては日本の撤退は暫らかで理事會としては去る九月三十日の理事會決議案による日本軍の漸次撤退の要求を應諾するの餘儀なき立場にある關係上、右二決議案起草は今や困難なるものあり決議案作成迄にはなほ幾多の波瀾を豫想されてゐる

原則として反對し得ぬが、同時に敵對行爲の即時停止並に日本軍の漸進的撤兵を規定しないならばこの委員會派遣案は單に侵略國に依る支那領土の不法占據を不定期間に永續せしめる術計に過ぎぬ事となり、この侵略國は聯盟における審議の續行中事實上不法なる目的を達成したものである、支那政府が聯盟に對する怨への根柢そのものを構成するに缺くべからざる原因を無視乃至回避するが如き提案を眞面目に考慮する事を期待するならば過ち之より甚しきはない而して支那側は理事會をして日本軍撤兵問題に逆戻りさせる迄は決議案に關し眞面目に討議をなす意思なき模樣で冷然たる態度を採つてゐる

秘密理事會
けふ午前續開

【パリ二十三日發】聯盟理事會十二ケ國秘密會議は調査委員派遣決議草案の審議及び之に關連せる支那側の撤兵主張等についての協議を續行するため廿四日も午前十時半から再開することになつた

ブ議長招待

【パリ二十三日發】ブリアン議長は明日午餐會を催すに決し本日午後各聯盟理事招待狀を發した、問題の解決も近くブリアン議長が之を樂觀したからだとみられる

支那の態度緩和努力
ブ議長施氏懇談

【パリ二十三日發】支那側の覺書提出に關しブリアン議長は施肇基氏を招き懇談を遂げたが右は支那代表の態度を緩和すべく極力之が說得に努力したものである

ド大使施氏と會見

【パリ二十三日發】米代表ドーズ大使は支那代表施肇基氏と會談した

在支邦人大會
十二月六日上海に開く

【上海二十三日發】滿洲をも加へた全支在留日本人大會は愈々十二月六日當地の中部小學校々庭において開催するに決したが、同大會では在支邦人は一切の犧牲に甘んずる故政府はこの機會に支那に對して斷乎たる處置を執れとの決議をなす筈

案文中に用兵問題
芳澤代表から直に請訓

【パリ二十三日發】理事會公開會議に提出される決議案文は今夜九時三十分ドラモンド氏から芳澤代表に內示され、芳澤代表は直ちに請訓した、該案は五項より成り第一項は九月卅日決議を引用、第四項で各國各々情報を蒐集し理事會に提供する件を規定し、第五項で日本側提案支那調査委員派遣案を規定、第二、第三各項で日本側が最も問題とする用兵の件に觸れ事態の惡化防止に更に一歩を進めて表明して居りこの點日本側に難色ありと觀られてゐる、尙右案が正式に芳澤代表に示されるのは二十四日である

我主張三原則
代表部に不讓歩を訓電

【東京二十四日發】支那調査委員會の組織に關する日支兩國の主張に著るしい隔たりあるためブリアン議長ドラモンド事務總長等は何等かの妥協點を見出すべく頻りに努力しつゝあるが、帝國政府は左の三原則を以て根本要求となしこの三原則に背馳するが如き中間案には一歩も讓ることなく既定方針を以て邁進するやう廿三日重ねて我代表部に激勵の訓電を發した
一、調査地域は支那本部及滿洲地方に亘るべき事
二、調査委員會は既往及び將來の日本軍の行動に關し何等の批判をなさゞる事
三、調査委員會は日支直接交渉に絕對に干與せざる事

決議案は受諾困難
錦州軍撤退せざる限り

【東京特電二十四日發】芳澤大使に內示された決議案內容は未だ外務省に確たる報道なきも滿洲の實情に鑑み日本政府は到底之を受諾し得ざる事は明瞭であり、その中最も困難なるは戰鬪行爲中止案については支那が錦州方面に集結中の軍隊を關內に撤退するにおいては必ずしも該字句の挿入に反對せずと見られる

歐洲軍隊の派遣を支那が聯盟に要請
撤兵後の治安のため

【パリ二十三日發】施肇基代表は調査委員をして日本軍の撤兵を監視せしめるため且つ日本軍の撤兵開始と交代に滿洲における日本人の生命財産の安全保障のため、即時歐洲の軍隊を極東に派遣されたき旨を述べ、その費用は支那が支辨するに吝かでないことを表示したものと諒解される、二十四日の理事會秘密會で調査委員會に關する日支兩國代表の提出せる書面による覺書綱要を更に審議する事となるであらう

支那の反對意見
施代表理事會に提出

【パリ二十三日發】支那代表施肇基氏は對支混合調査委員派遣案に對し本日次の如き反對意見を理事會に提出した

錦州軍と連絡をとり滿鐵沿線の別働隊が活躍
湯崗子方面に既に數千名進出

錦州方面の支那軍は其後遂次東方に移り馬賊討伐と稱し正規兵に公安隊服を着せしめ續々その數を增しつゝあることは既報の如くであるが右積極的行動に聯繫して南滿沿線の支那別働隊は昨今著るしく猖獗して來た、湯崗子西方一帶には數千の別働隊活動しつゝあり、何時沿線に進出し來るや測り難き狀態にある【奉天電話】

錦州の學良軍愈よ大規模な戰鬪準備
高射砲大隊も出動

錦州の張學良軍の積極的行動に關しては既報の如くであるが、二十三日某所着電によれば溝帮子より大凌河一帶双羊店、石山站、羊圈子等に戰鬪準備をなしたる外、白旗堡には約一團の兵を二個列車に乘せて來た、尙學良は日軍の飛行機來襲に備へるため關內より高射砲隊一個大隊を錦州に派遣せしめた【奉天電話】

南京、奉天兩派の對日軍事會議
蔣氏北上を待ち召集

【北平二十三日發】確聞するに蔣介石氏の北上は全く決定し居り津浦線より隴海線に轉じ開封、鄭州で約十師の基本部隊を檢閱し同地から錦州、顧祝同、商震等を從へて入平し高分滯在のはずであるが蔣氏着平後蔣介石、張學良を中心とする南京派及び奉天派の一大軍事會議開催に決し居り南京派より錦時、顧祝同、奉天派より張作相萬福麟、王樹常、中立派より商震等出席し對日策を協議の筈

蔣氏學良軍を改編せん

【上海二十四日發】蔣介石氏は近く北上する旨言明したが蔣氏北上の眞意が對內對外共に信望地に墜ちた張學良を處置するに在ることは疑ふの餘地なく蔣氏は學良軍隊を手中に收め閻錫山勢力の伸張を防止すると共に北方における實權を握つて國內の政治關係を自派に有利に展開せしむる機會を得んとするもの、如くである

錦州軍に卅萬元支給
部下に激勵

【天津二十四日發】張學良は錦州軍に對し三十萬元を支給すると共に東三省內で日本軍の占據を免れてゐる唯一の地區錦州に戰禍の及ぶ時は國家榮辱の岐るゝところなり各部下を督勵して奮鬪努力せよと激勵するところがあつた

湯玉麟部隊
北票一帶に出動

熱河の湯玉麟氏は張學良氏より再三再四出動方を命ぜられたが應じなかつた、しかるに最近北票一帶に一部隊を出動せしめ打通線の貨

日支紛爭解決に
引用せんとする諸規約

國際聯盟規約中時々引用せんとする重要なる條文を拔萃して參考に資すれば左の如し

聯盟規約第五條

一、本規約中又は本條約の條項中別段の明文ある場合を除くの外聯盟總會又は聯盟理事會の會議の議決は其の會議に代表せらるゝ聯盟國全部の同意を要す
二、聯盟總會又は聯盟理事會の會議に於ける手續に關する一切の事項は特殊事項調査委員の任命と共に聯盟總會又は聯盟理事會之を定む此の場合に於ては其の會議に代表せらるゝ聯盟國の過半數に依つて之を決定することを得

同第十一條

一、戰爭又は戰爭の脅威は聯盟國の何れかに直接の影響あると否とを問はず總て聯盟全體の利害關係事項たることを茲に聲明す仍て聯盟は國際の平和を擁護する爲適當且有效と認むる措置を執るべきものとす此の種の事變發生したるときは事務總長は何れかの聯盟國の請求に基き直に聯盟理事會の會議を招集すべし
二、國際關係に影響する一切の事態にして國際の平和又は其の基礎たる各國間の良好なる諒解を攪亂せんとする虞あるものに付聯盟總會又は聯盟理事會の注意を喚起するは聯盟各國の友誼的權利なる事を併せて茲に聲明す

同第十二條

一、聯盟國は聯盟國間に國交斷絕に至るの虞ある紛爭發生するときは當該事件を仲裁々判若くは司法的解決又は聯盟理事會の審査に付すべく且仲裁々判官の判決若くは司法裁判の判決後又は聯盟理事會の報告後三月を經過する迄如何なる場合に於ても戰爭に訴へざることを約す
二、本條に依る一切の場合に於て仲裁裁判官の判決又は司法裁判の判決は相當期間內に、聯盟理事會の報告は紛爭事件附託後六月以內に之を爲すべし

同第十三條及第十四條

仲裁々判又は司法的解決に關する規定（略）

同第十五條

一、聯盟國間に國交斷絕に至るの虞ある紛爭發生し第十三條による仲裁裁判又は司法的解決に附せられざるときは聯盟國は當該事件を聯盟理事會に附託すべきことを約す何れの紛爭當事國も右紛爭の存在を事務總長に通告し以て前記の附託をなすことを得事務總長は之が充分なる取調べ及び審理に必要なる一切の準備をなすものとす
二、此の目的のため紛爭當事國は成るべく速に當該事件に關する陳述書を一切の關係事實及書類と共に事務總長に提出すべく聯盟理事會は直にその公表を命ずることを得
三、聯盟理事會は紛爭の解決に力むべくその努力功を奏したるときはその適當と認むる所に依り當該紛爭に關する事實及說明並其の解決條件を記載せる調書を公表すべし
四、紛爭解決に至らざるときは聯盟理事會は全會一致又は過半數の表決に基き當該紛爭の事實を述べ公正且適當と認むる勸告を載せたる報告書を作成し之を公表すべし
五、聯盟理事會に代表せらるゝ聯盟國は何れも當該紛爭の事實及之に關する自國の決定に付陳述書を公表する事を得
六、聯盟理事會の報告書が紛爭當事國の代表者を除き他の聯盟理事會員全部の同意を得たるものなるときは聯盟國は該報告書の勸告に應ずる紛爭當事國に對し戰爭に訴へざるべきことを約す
七、聯盟理事會に於て紛爭當事國の代表者を除き他の聯盟理事會員全部の同意ある報告書を得るに至らざるときは聯盟國は正義公道を維持する爲め必要と認むる處置を執るの權利を留保す
八、紛爭當事國の一國に於て紛爭が國際法上專ら該當事國の管轄に屬する事項に付生じたるものなることを主張し聯盟理事會之を是認したるときは聯盟理事會は其の旨を報告し且之が解決に關し何等の勸告をも爲さざるものとす
（九）（一〇）略

同第十六條

一、第十二條、第十三條又は第十五條に依る約束を無視して戰爭に訴へたる聯盟國は當然他の總ての聯盟國に對し戰爭行爲を爲したるものと看做す他の總ての聯盟國は之に對し直に一切の通商上又は金融上の關係を斷絕し自國民と違約國々民との間の一切の交通を禁止し且聯盟國たると否とを問はず他の總ての國の國民と違約國々民との間の一切の金融上、通商上又は個人的交通を防遏すべきことを約す
二、三の各項（略）
四、聯盟の約束に違反したる聯盟國については聯盟理事會に代表せらるゝ他の一切の聯盟國代表者の聯盟理事會における一致の表決を以て聯盟より之を除名する旨を聲明することを得
（つゞく）

反學良派秘密計畫
討張後北支に新勢力を樹立し日本と直接交渉開始

【北平廿四日發】北平方面の反動分子は滿洲事變突發並に其後の學良氏の處置適當でないこと、彼の威令全く地に墜ってもはや再起の望み絕無となれる今日、學良討伐の秘密計畫を進めてゐるが最近その運動愈々實現化したもの、如くした、右討張計畫は今なほ極秘に附せられてあるが先づ學良を斃し一方南京と完全に連絡を絕ちその干渉を一切受けざる新勢力を樹立し速かに日本と直接交渉を開始するやうである

蔣氏警衛先發
部隊出發

【南京二十三日發】蔣介石氏の北上に先立ち警衛第一旅は本日午後津浦線により出發した、蔣介石氏自身も廿三日中に北上するものと見られる

車を押留した、但しその目的は攻守何れにあるか不明である【奉天電話】

北寧線の運行
變調

北寧線の運行は二十三日以來東行列車は全くなく變調を來せるが如く皇姑屯附近は不安の氣漲つてゐる【奉天電話】

窮した張學良が頻に賣國的行爲
滿蒙軍政府をも計畫

【北平二十四日發】內外の形勢日に非、最後の運命に逢着せんとしつゝある張學良は窮餘の策として滿蒙臨時軍政府樹立といふ奇想天外な計畫を目論でゐる、即ち學良は東北と內外蒙古及びソウエートと聯合して滿蒙臨時軍政府を組織すべく本月二十日を期し通遼北方の達爾漢王府に內外有力蒙旗王公を召集して
一、蒙古の適當な地點に滿蒙臨時軍政府を組織す
二、軍器、俸給等は暫時ソウエートから支給を仰ぎその代償として內外蒙古の鑛山採掘權、鐵道敷設權をソウエートに提供する外ソウエートから指導員を招聘する
三、東北軍及び內外蒙古の義勇軍を以て滿蒙混合軍を編成し軍資は學良が負擔する
四、軍政府の最高幹部は東北より四名、內蒙古より二名、外蒙古より三名、ソウエートより顧問の名義で二名を各選出し合計十一名の委員を以て組織する、軍事、外交の全權はすべてソウエートの指揮を受く
等の政府組織大綱に就いて協議することになつてゐた由であるが二

錦州方面情勢報告

【パリ二十三日發】支那代表は本日ドラモンド氏に對し國民黨第四次全國代表大會の十一月二十日の決議並に錦州方面の情勢に關し諒へを提出した

十日に會議が開かれた模樣もなく實現性無きナンセンスとされてゐる、それにしても滿蒙を擧げてソウエートに賣らんとする學良の心事が嘲笑されてゐる

天津は表面漸く復舊

【天津二十四日發】境界線三百米內の支那側防禦陣地は大體において撤去され本朝より支那街と日本街の間も電車が通り表面的には舊に復した感がある、日本側は依然警戒だけは怠つてゐない、なほ本日より日本小學校、天津高等女學校は授業を開始した

外交部長代理任命
顧維鈞氏に

【南京二十三日發】國民政府は本日午後六時顧維鈞氏を外交部長代理に任命したが、今夜蔣介石氏は官邸に顧維鈞氏を招ぎ對日問題につき協議したが時局多端の際なれば顧氏は二十四日より直に執務する事となつた【寫眞は顧氏】

北平の各國武官
北滿各地視察に赴く

【北平特電二十四日發】北平駐在英、米、佛各國公使館附武官は各國政府の訓令に基き近く北滿各地視察の途に就く事となつた

四全會議閉會式

【南京二十三日發】第四次全體會議は今朝九時から閉會式を舉行し蔣介石氏より國民の一致團結に關する演說あつた後閉會式を終へ同時に軍事、經濟、敎育の改革を强調せる大會の聲明書を發表した

電信、自動車隊
東京出發

【東京二十三日發】近衛及び第一師團の電信隊、自動車隊の派遣兵二百名は二十四日午後十一時三十五分東京發滿洲に向ふ事となつた

固き決意を以て難局打開に當る
首相、富田顧問に言明

【東京二十四日發】民政黨の富田顧問は二十三日午後熱海より歸京、同一時安達內相を私邸に訪問、居合せたる中野正剛氏を混へ協力內閣問題につき重要協議を遂げたが席上先づ內相は聲明書問題につき詳細釋明し之に對し富田顧問は不安除去方法につき忌憚なき意見交換をなし同二時過ぎ辭去し更に同四時若槻首相を私邸に訪問したるに若槻首相は「自分は固く決心して難局打開に當る積りであるから御諒承の上黨內において善處され度し」と黨內鎭靜の希望を述べ種々懇談を交へて同五時半辭去した

政局問題で黨出身閣僚懇談
內相より所信を披瀝

【東京二十四日發】安達內相の聲明に基き若槻首相以下閣僚間に對立關係深刻化し山道幹事長は二十四日午前七時內相私邸において永井氏と會見、これが收拾策につき協議した上安達內相の意見を質したところ內相は依然該聲明書は自己の信念を述べたもので今日積極行動までに至つてゐない旨を明答した、依つて山道幹事長は川崎翰長を訪問更に若槻首相と懇談した結果、政局がこのまゝ險惡狀態に置かるゝことは國家のため憂慮に堪へぬ故何等かの收拾策を講じなければならぬとして川崎山道兩氏斡旋の下に若槻首相を除いた黨出身閣僚懇談會を至急本日午後開催し、席上安達內相より所信を披瀝し閣僚との間に隔意なき意見の交換をなし懇談することゝなつた

松田前拓相若槻首相訪問

【東京二十三日發】松田前拓相は本日午後二時五分若槻首相を官邸に訪問約一時間に亘り重要意見の交換を爲したが松田前拓相も此際黨內の動搖は極力避け若槻首相を推して邁進すべきであると主張した模樣である

與黨代議士會召集は不利

【東京二十四日發】安達內相の聲明發表に發した政界動搖に對し與黨一部の意見を代表し定塚門次郎清水德太郎の兩代議士は二十三日山道幹事長に對し代議士會を召集し時局對策を決定し政局安定を圖るべしと申出で廿四日の總務會でこれが對策を協議することゝなつたが代議士會を召集せず安達內相の聲明には櫻井木、中野、山道三

人事

▲田崎又次氏（人類愛善會第三慰問使）二十四日軍隊慰問のため午前九時發列車で奉天へ
▲鈴木延吉氏（同 同上）
▲山崎元幹氏（滿鐵總務部次長）二十三日晚奉天へ

氏が參加しながら若槻首相には一片の報告もない事から安達派、非安達派の激論となる等の黨內紛爭は愈々重大化し收拾し得ない狀態となる懼れあり、代議士會召集は決定せざるべしといはれてゐる

內相に自重希望

【東京二十二日發】川崎翰長は廿四日早朝安達內相を訪ひ自重を希望した

田中文相山本男を訪問

【東京二十三日發】若槻首相を辭去した田中文相は廿二日午後七時四十分山本達雄男を自邸に訪問して安達內相の聲明問題に關し若槻首相と五相の協議した結果を報告して種々懇談するところあつた

二宮參謀次長

二宮參謀次長の一行は廿三日午後三時三十分奉天發列車でチチハル方面視察のため北上【奉天電話】

蛇角

獺の生一本五十樽及び鱈五十罐京都飮食店組合から滿洲派遣軍に寄贈、酒するめ梅干は皇軍元氣のもと。

◇

支那では國聯に於て戰鬪行爲の即時停止を主張し、南京からは蔣介石日本軍剿滅のため北上を放送す。

◇

國民黨四全大會國難會議開催を決議す、國難の來るは今日に始まるのでない、國民黨の根本の方針に誤謬があるからだ、會議はそこまで硏究するを要す。

◇

北平駐在の英米佛武官北滿視察の途に就く、見るだけは十分に見ておくがよい。

◇

支那代表施肇基、日本軍の代りに歐米の軍隊を入れてもよいと申込むとの通信がある、マサカそれ程無定見ではあるまい。

◇

支那治外法權撤廢尙早論歐米各地に起る、已むを得ぬ成行。

東亞の謎 (124)
國枝史郎　挿畫 伊藤順三

危機より危機へ（八）

「その實ちつとも偉くなんかないって」
「ふむ、ちつとも偉くなんかないさ」
「何故つて何うして訊かないのよう」
「何故？さよう、ふむ、何故？」
「本當に偉い人間つてもの、通行に邪魔つ氣な扉の前なんかに、ソファーなんか据えて頑張らずに、却つてお部屋の隅つ子の方で、お手々膝に置いてかしこまつてゐるものよ」
「で有りますかな、アツハヽ」
「駄目よ、南部さん、その笑ひ方だつて」
「ふむ、こいつもお氣に召さない」
「逆もよ、逆もお氣に召さないわ」
「遺憾なことで、さて困つたぞ」
「モダンでシークな笑ひ方でなくちやア……そんな笑ひ方、古くさいわ」
「ふむ、笑ひ方にも新舊がある」
「そりやア有つてよ、大ありだわ、さうして笑ひつてもの大切よ。だつて然うでせう笑ひ方一つで、人の感情を害したり、和げたりするんですもの」
「それは有ます、確にあります」
「モダンでシークの笑ひ方、聽かでなくちやア不可ないわ。ハロハロハロ、こんなやうに」
「ハロハロハロ、こんなやうにですかな」
「まだ不可ないわ、澄つてゝよ。モダンでシークの笑ひ方、澄んでゐなくちやア不可ないことよ」
「いや、仲々むづかしい哩」
「その哩がよくないの」
「ふーん、こいつもお氣に召さない？」
「落第だわ、零點よ」
「…………」
「あゝちや哩、こうちや哩。……今……明治維新の舊語よ。……今の歡樂それぢやア駄目。もつとアワサリやるものよ、あ、です、こうです……これでよくつてよ」
「ソ、それでよろしいですとも」
「今後注意すれ、よくつて」
「が、併しお孃さん」南部は言葉を作つて云つた「この私から云はせますとですな、伯爵家の令孃とある可き貴女が、往々にして可成り遊戯の、卑しくさへ思はれる言葉を使はれる、これが何うも氣に入りませんので……」
「お相憎さま、それ流行りよ」
「はゝあ流行り？流行りとは？」
「蓮葉で下等で威勢がよくて、さうして舌足らずで片言で、かういふ言葉、使ふのが流行りよ」
「氣に入りませんな、よくない流行りで」
「イングリッシュ使はずにアメリカン使ふの、これ逆を流行つてるの」
「アメリカニズムッていふやつだな」
「さう、そのイキよ、やつッてイキよ」
この時扉の向ふ側から扉をコツくとノックする者があつた。
「來たな」と南部は思はず叫び、愉快さうに顔を崩してゐた表情を、俄にグッと引き締めた。
それから立つて行つて扉を開けた。
三木本泰三が這入つて來た。
「ナーンだ貴様か人をおどかしな」
安心と不滿とを現はして、かう南部はイライラしく云つたが、三木本の背後から、巨大な籠を二個擔いだ、二人の蒙古人が這入つて來たので、南部は又もキッとなつた。
籠の一つには沙漠に實る果實がうづ高く盛られてあり、もう一つの籠には沙漠に咲く草花が一杯に投げ入れられてゐた。
「これは贈物にございます」
例の調子で三木本が云つた。
「この城中に居りますところの、日本人達が皆様方へ、お送りした贈物にございます」

兵匪討伐のため わが部隊出動
朝來湯崗子驛西方に

鞍山、營口間に散在する兵匪數千を討伐のため鞍山驛より奉天○大隊、千山より連山關の○大隊、南臺より大石橋の○大隊、いづれも砲兵騎兵をもつて廿四日午後一時より三時までに湯崗子西方に出動また湯崗子驛より○○一部が今朝六時出動した、守備隊司令部は高塲山にあり交戰中【湯崗子電話】

けさ沙崗附近の部落に 優勢な馬賊現はる
我兵警官出動交戰中

鷹家屯驛沙崗驛間に百五十名位の馬賊が今朝九時頃突如現はれ機關銃、迫擊砲を以て部落を襲ひ支那人二名を殺し三十名を人質とした、大石橋、瓦房店より守備隊、警察官等全員出動して目下交戰中であるが當方にも死傷者相當ある見込にて瓦房店より衛生隊出動中であるが市中は非常に緊張し警備隊を以て全市を警戒中【瓦房店電話】

兵匪に爆彈投下

湯崗子驛西方に出動した我軍は二十四日午前十時當面の兵匪を擊破し前進追擊中であ る我飛行機は太子河の東方を徘徊してゐる多數の兵匪に對し爆彈を投下して擊退した【湯崗子電話】

久振りで入浴し 飛行將校武勇談
長春に無事凱旋して

昂々溪方面の戰鬪に參加し活躍した長春駐剳飛行隊は二十三日無事一同凱旋したが、飛行將校は何れも防寒眼鏡防寒マスクをなし露出してゐる鼻、顏面を眞黑に凍傷し殊に防寒眼鏡をはづしたあとなどは黑くふちどられて恰もカイゼル髯をはやしたやうに凍傷した見るも痛ましい顏ぶりやうであつたが一同元氣旺盛に交々語る

久振りに風呂に入つて蘇生の思ひさ、北滿の空は三十度から四十度の寒さだ、然し幸に一人の負傷も出さず元氣で歸つて來た飛行機は何れも三十發宛位の敵彈を見舞はれたが、五十米ばかりまで低空飛行をやつて敵の騎兵集團をやつつけた時などは忘れられない痛快事だ、馬は潰れる、人は墜る恰度蜘蛛の子を散すやうな有樣だつた、歩兵部隊も我軍と交戰中飛行機が飛んで行くと敵兵全銃口は我歩兵に對する射擊は留守になつて飛行機に向けられたが、それ程飛行機の威力には恐れてゐる、齊克線の敗殘兵追擊に行つて相當の損害を與へた、支那兵が多數海倫に逃げたなんて信ぜられない【長春電話】

戰死した井上中尉
故中村少佐との記念撮影

中央されから右より三人目が關志衞から慘殺された故中村少佐で第二列目の右六名は何れも當時三十聯隊へ留學中であつた支那兵である

▲昂々溪附近戰死者發見された故井上中尉は歩兵第三十聯隊から原隊高田において撮影せるもので前列左より二人目が戰死した井上友治

關東州の清酒 品評會で入賞

朝鮮釜山に於て開催された全鮮酒類品評會に關東州酒造組合では清酒二十點を出品したが八日の表彰授與式に左記六點入賞、なほ朝鮮側出品の優良酒八點を取寄せ二十一日大連民政署で各組合員集合利酒會を催した

▲一等「美乃鶴」磯足龜吉▲二等「神代」神田小太郎、同「松鶴」原田商會▲三等「志摩錦」志摩釀造會社、同「月ケ瀬」森川清、同「高風」岩田爲藏

白國皇儲兩殿下 明春御來朝
三月十五日神戸御入港
二週間御滯在の御豫定

【ブラッセル二十三日發】ベルギー皇太子レオポルド、同妃兩殿下は明春三月十五日箱根丸で神戸御到着の御豫定で日本御滯在は十四日間である

檢擧された 武器密輸團一味
證據物件で取調開始

賣國奴的武器密輸事件は大連署司法係の大活動により二十三日夜露人二名を有力な容疑者として逮捕したのを殿に一味十五名を一網打盡し檢擧は全く一段落を告ぐるに至つた、一味の氏名は左の如くである

市内山縣通り百六十六番地 貿易商 多久島四六（四二）
同店員 草野 權次（三三）
同 大塚 茂（二二）
同 高峰 龍行（二四）
同 蘇川 金吾（二九）
同 楊 有 陸（三二）
市内若狹町八番地 運送業 立石 脩（二五）
市内沙河口巴町二二番地 洋品雜貨 溝口 富次（四二）
市内惠比須町四四番地 貿易運送 佐藤 實（二四）
天津租界壽街 運送荷集業 井上 宗二（四二）
市内南山麓十五號 吾妻驛員 藤田 末一（二〇）
大連海關係員 董 孝 友（二五）
天津佛租界 露人 ヂョンヂ・トライブ（二九）
アロン・コベツキー（三二）

即ち多久島四六を日本人側の主魁として井上宗二が天津から支那製武器を發送し溝口富次が埠頭に於ける受取り係で多久島の店員等が情を知つて手足の如く働き主として佐藤實が奧地への輸送係として連絡を執つてゐた、露人二名は主として支那軍閥及び兵匪等に對し賣込交渉の任に當つてゐたもので大連署では押收した山の如き證據物件により犯罪經路を固めつゝあり流石に固く口を緘して自白しなかつた一味も峻烈な取調に對し漸く口を割りつゝあるので兩三日中には賣國奴的犯罪事實が明瞭となるであらう

わが軍の戰死傷者 百三十二名に上る
凍傷收容二百五十名

その後調査し得たる我軍の戰死傷者數左の如し

戰死者 歩兵第三十聯隊井上中尉、歩兵第七十八聯隊衣笠大尉、下士以下二十四名、騎兵第二聯隊下士一名、砲兵第二聯隊下士以下四名、その他川野大尉下士一名合計三十三名

負傷者 歩兵第二十九聯隊內山田一等軍醫、歩兵七十八聯隊內山大尉、小矢迫中尉、下士以下七十二名、騎兵第二聯隊曾根崎中尉、歩兵第二十八聯隊藤井中尉、下士以下四名、砲兵第二聯隊成川中尉、下士以下十六名、その他下士一名、合計九十九名

總合計戰死傷者の數は百三十二名の多數に上つてゐる、その他凍傷で收容中の者二百五十名である、敵の戰死傷者數は不明であるが遺棄した死體約五六百名で敗退の際持去つた者が多數にある【奉天電話】

歩兵第四聯隊

歩兵第四聯隊發表、十八日三間房附近における戰死者、第五中隊曹長河名一郎第二中隊一等卒渡邊春大第六中隊一等卒後藤友吉、チチハル附近における戰死者、第一中隊軍曹阿部猛なほ重傷者二十二名あり官氏名確報なしと【長春電話】

重砲隊の 死傷者

昂々溪附近における旅順重砲兵大隊の死傷者は廿三日夕刻までに判明せるもの戰死者一名、負傷者三名で、姓名は不明【奉天電話】

御用商人店員死體

旅順駐剳歩兵第三十聯隊本部附須藤銃工長は戰死せる旨二十三日夜留守隊に入電があつた、夫人は目下姙娠中で兩三日中に分娩の豫定である、なほ御用商人大西商會方

各地に兵變續出し 吉敦全線不安
濱縣の誠允が指揮し

二十二日吉敦線蛟河驛駐屯の支那官兵五十名が兵變を起し停車場を襲擊せることは既報の如くであるが、二十三日午後二時半十三名の馬賊が威虎嶺驛を襲擊し警備兵と一時間交戰の後隧道方面に遁走したが、その際警備兵一名卽死した、同日二時頃額穆縣駐屯の支那官兵百五十名は機關銃三、歩兵銃百挺七十挺を持つたまゝ兵變を起し額穆縣城を襲擊掠奪した上張廣才嶺方面に逃走したまた、同日午後三時敦化手前の秋梨溝驛附近において約四十名の馬賊と討伐に向へる敦化準備兵百名とが衝突したが警備兵も馬賊に合體したとの說もあり敦化は非常な不安に怯へてゐる、この外柳樹河驛の南方三支里の山中に五六十名の兵匪が夜襲してゐる、すべてこれ等の吉敦線各地の馬賊の跳梁、官兵の騷擾は濱綏の吉林臨時政府主席代理誠允の指揮によるものと觀られ而も吉敦線の警備兵は極めて僅少なるため吉敦全線は今や極度の危險に曝されてゐる【長春電話】

每朝將軍の寫眞に 夫人心盡しの燈明
歸らぬ覺悟で武運長久を祈る
軍司令官の自邸

本庄關東軍司令官の東京の自邸に二ケ月間滯在し、馬上颯爽たる同將軍の肖像畫の完成を急いでゐた伊勢府仁王門野田蘇南畫伯は過日歸連したが

軍 神乃木將軍の家庭にも比すべき本庄家の有樣が、蘇南氏によつて詳細に物語られた。

東京府下東中野上野原の本庄邸は極子夫人に守られ、將軍の嚴父、母堂、醫科大學に通學してゐる長男を頭に三人の令息、それに女中二人の靜かな家庭で、たゞ一筋に質素を旨とした生活を送られてゐる、四十坪ばかりの敷地に小さな二階屋、門は丸太の切れつ端で作つてある、一番廣い十疊餘の應接間さへ殆ど飾ッ氣無しの殺風景なもの、これが今

世 界の注視をあつめてゐる駐滿皇軍の總元締、

關東軍司令官本庄繁閣下の邸宅とは誰が思へよう、附近に住んでゐる人に「本庄將軍のお住ひは」と尋ねても知つてゐる人さへ稀だと云ふことである。

◇……

朝は先づ神前に禮拜をしてから佛壇にかざられた四つ切り半身の本庄將軍の寫眞に燈明があげられる、これは極子夫人每朝の日課だ、「本當は再び歸つては來ないものと覺悟してゐます、たゞ皇軍の武運長久を……」と神に祈る極子夫人の姿こそ、乃木將軍夫人にも比すべきではないか、事變以來外出するにも殆ど徒歩だ「北滿の曠野に

寒 風に吹きまくられながら御國のために活動を續けてゐる帝國軍人のことを思へば……」とても車や自動車には乘れない」とは極子夫人は常に語つてゐると云ふことだ。

◇……

令息は一人は商大、一人は慶大、末は中學に在學中だが、事變以來通學以外は外出も稀であるが、それは萬一の事があつて父の名を汚すやうなことがあつたならば將軍に對してよりも、長くも天皇陛下に對したてまつつて申譯がないからであると、たゞ

樂 しみは家族一同で新聞紙により將軍の活躍を知ることのみで、この時だけは靜かな家庭に喜びの聲が起きる。

◇……

十月二日は恐ろしい暴風雨であつたが、夜更けてから本庄邸に雷が落ちた、幸ひ避雷針の設備があつたので別段の被害は無かつたが、この時まで將軍のことに關しては何にも云はなかつた將軍の嚴父が「支那の雷が落ちたぞ、繁では面がたゝぬので留守宅を狙つたのだ」と云つて大笑ひしたとのことである。

この夫にしてこの妻あり、この父にしてこの子あり、野田畫伯によつてもたらされた本庄家の物語りは、日本國民の模範として涙なくしては聞かれぬものではないか。

戰死者を發見

十八日昂々溪戰鬪に於て行方不明になつた歩兵三十名の內、水口岡村兩二等主計以下十名は戰死して ゐるのを發見した、なほ他の五名は戰死せることは確實なるも死體は目下調査中【寫眞（上）水口二等主計（下）岡村二等主計、奉天電話】

反日會暴行を 取締り嚴罰
上海租界當局動く

【上海二十三日發】反日救國會の日貨檢査、日貨強奪の獰々たる不法行爲に對し從來傍觀的態度を採り邦人等の非難を受けてゐた租界當局も抗日會の暴狀日を逐ふて惡辣化するので斷然之を取締る事となつた、卽ち昨朝租界內支那人綿布商大清號に反日會役員四名來り日本製綿布價格一千七百六十兩の品を差押へ強奪し去つた事實あり租界警察は直に右四名を逮捕し今朝臨時法院に強盜罪として送附したが、今後共反日會のこの種不法行爲に對しては嚴重處罰する方針である

腕ぶしを自慢し 出及庖丁で危篤
酒の席の喧嘩が昂じ

市內福星街四〇二山本信一（三〇）は廿三日午後九時半ごろ市內惠比須町元關東廳警部加藤巳之七氏長男英二（三）等と沙河口黎山街五九濱尾宅にて支那燒酎を飲みながら盛んに氣焰をあげてゐる內英二が自分は柔道二段だ腕ブシのある者はかゝつて來いと暴言を吐きながら傍らにゐた山本に對して暴行を加へたのに憤慨し山本は林檎を剝いてゐた出刄庖丁を持つて矢庭に立ちあがりさま英二の兩腿及び腕その他に四ケ所深さ骨膜に達する重傷を負はせ山本はその場より傷害犯人として沙河口署に引致され英

灘の銘酒寄贈

【東京二十四日發】京都飮食店組合では灘の生一本五十樽を近く聯合と共に滿洲派遣軍に送る、又東京アメリカンスクールの外人少女も慰問品を寄贈した

勅語謄本拜受

大連民政署では二十四日午前十一時二十分、署長室に於て下藤小學校御下賜の教育勅語謄本傳達式を擧行、各關係長立會ひ古川校長は辛島署長より拜受して歸校した

二は直に大連醫院に收容されたが生命に別條ないと

「家賃と水」 まだごた〳〵

家賃二ケ月不拂の結果この二十日家主の願出により民政署から水道栓給水を停止された西公園町寶傳俱樂部會我道家五郎妻こと西田彌吉は二十四日再び民政署に

水は家屋に供給するものでなく人類に供給するものである、水は人間の生活上一時も缺く可らざる大切なものであるから至急給水されたい

と書面を以て願つて來た、これに對し民政署小島水道係技師は左の如く語つてゐた

水道の契約名義人が家主であり、その家主が必要なしと停止方を願つて來た場合、民政署として給水停止も已むを得ない、それも附近に水がなく給水停止すれば干乾になると云ふなら人道上の問題であるが、西田の附近には而かも水道販賣所もある筈だ

大連卓球大會
廿九日に開催

滿洲卓球協會主催本社後援大連卓球大會は來る廿九日午前九時から敷島町日本基督教青年會館內で行はれるが、本年は大連の各チームとも實力が完全に平均して來ただけに非常な接戰を期待されてゐるなほ參加規定は左の如くである

▲申込場所 大連伊勢町山本運動具店氣付滿洲卓球協會
▲申込締切 廿八日正午限り
▲選手資格 制限なし（一チーム五名補缺二名）
▲主將會議 廿八日午後四時より滿洲日報社內にて
▲會費 一チーム一圓五十錢

公衆電話荒しは 佐世保海兵團脫走兵

最近頻々として大連市內の公衆電話機を破壞し料金を竊取する犯人あり大連署司法係で探査の結果二十三日河野刑事が逮捕取調べると犯人は意外にも佐世保海兵團を脫走した三等主計櫻井武夫（二）と判明、身柄は大連憲兵分隊に引渡した

櫻井は去る七月二十六日二週間の賜暇休暇を得郷里熊本に歸省中八月十二日脫走して青島に高飛びし九月七日來連懷中無一文のため中央公園內の公衆電話器を破壞、料金七十五錢を竊取したのを手初めに數ケ所の公衆電話を荒し廻りなほ常盤橋納涼場で十餘件のスリ、大坂屋號で十數回の書籍を萬引、十月十日關一夫と僞名し市內若狹町てんぷら屋福井弘方に雇はれてゐたものである

優等 味淋 玉椿
三河國大濱町 福宜田醸造場

チチハルへ 電報取扱ひ

今回我軍チチハル占據と同時に長春商通組合では北滿在留民發展のため十九日より和文及び歐文電報の轉電を開始することになつたその打電方法は長春商通組合氣付チチハル某と記載すればよいわけである【長春電話】

繫留中盜難

廿三日午前三時頃大連港第三埠頭三十三番バース繫留中の維新丸備付のダンプルカバーが盜難にかゝつてゐるのを同船員が發見かくと水上署に訴出たので目下犯人嚴探中である

天氣豫報
廿五日
西の風 曇驟雨模樣

各地溫度

	廿四日午前十一時	廿三日最低
大連	三、九	一、七
旅順	五、二	三、二
營口	零下一、五	零下一、九
奉天	同二、三	同二、八
長春	同四、一	同一〇、二

けふの小洋相場（正午）
金百圓は二一五圓丁度

暗流阿修羅館 (252)

生田蝶介
挿畫 藤井耕遶

家治病む(十六)

「やはり、いくらかお樂になつたのでございませう。お惱みが遠のいて居ります」

お紅の方は藥の話には觸れなかつた。

「お紅どのもお疲れであらう、よくお盡し下される」

「何を仰有います。ですが行屆きません」

「いや、なかなか出來ないものです」

水野忠友は、云ひながらも、懐の中の湯呑茶碗が氣になつてしかたがない。紙が入れてあるから、懐の中で零れてしまふことはないが、それでも濡れるやうな氣がして、どうにも落着かない。このやうなものを懐に入れたのは生れてはじめてだつた。手を懐に入れたり出したりした。

お紅は忠友のその容子に氣がついたらしい、頻りに彼の懐のあたりを見てゐる。

忠友は困つた、堪らなくなつた。一寸厠に立つ風をして立ちあがつた。

彼のうしろ姿を見たお紅は、ほつとしたやうな顔をした。

忠友は、しばらくもどつて來なかつた。

お紅は肩がひどく凝つてゐることを感じた。のび上るやうに頸をあげて、うしろに反りかへるやうにして眸をつぶつた。輕い溜息がその美しい口から漏れた。

家治は目をさました。

「紅、其方一人か」

「お目ざめでございますか」

「もう何時ぢや、暗いやうぢやの」

「もうやがて寅でございませう」

「曇つてゐるのかな」

「曇つて居ります」

「少し胸が苦い」

「いお痛みでございますか、この邊でございますか」

と、お紅は蒲團に手を入れた。

「もう少し右よりの方、さうそ、もつと下だ、そ、その邊だ」

「この邊でございますか」

「さうだ」

「ほんとにお代り出來るものならお代りして差上げたいのでございます」

「あゝいゝ氣持だ、そのあたりをずつと擦ぜてくれ」

「お痩せになりましたれ」

「痩せたな、どうも、今度は起きられさうに無い」

「上樣」

お紅は目に一ぱい涙をためた。

そしてしばらく言葉が出なかつた。

「何を泣くのぢや」

「…………」

「え」

「濟みません、涙をお見せ申て濟みませんでございます、上樣が餘りに悲しいことを仰られますから」

「それで泣いてくれるのか、其方を泣かせるために云つたのではない」

「そのやうな悲しいことを仰せになるものではございません、なんの、きつとよくなられます。げんに、段々よくなつておいでゞございますもの」

「さうか知ら、が、それは氣安めでさう云つてゐるのであらう、私には何もかも判つてゐるやうに思ふ」

「私の思ひで、きつと以前のお身體にしてお見せします。もう決してそのやうな悲しいことは仰せ下さいませんやうに」

「では、もう云ふまい、其方も泣くのをやめてくれ。何はどうした意はどうした、誰れも居ないやうぢやの」

「水野が田沼に代つて今宵は當直したいと申して、つい先刻入代りましてございます」

「水野が?それはめづらしい、では今宵は水野といろ〳〵話せるな」

キネマと演藝

滿洲事變の記錄映畫 東活撮影の正義は強し

最近滿蒙映畫に特別の力をそゝいでゐる東活映畫では今回赤々安部所長、若木總務部長氏は陸軍省を訪問して打合せの結果、同省後援の下に關東軍司令部諒許で今日までの滿洲事件の眞相を如實に現した「正義は強し」と云ふ記錄映畫を製作する獨占權を獲得し先に渡滿した根津新一行の撮影隊は早速その撮影に着手、目下當時の奉天一帶の戰況を撮影中である、因に本映畫完成の曉は當局と協力して東活では日本の正義を世界に普く知らしめる可く種々なる企てを成す事になつてゐる

「毒草」沿線上映

大日活に上映好評を博した新興キネマ現代劇作品「毒草」十五卷は廿五、六日の旅順昭和園を振出しに廿八、九日長春、十二月二日から五日間奉天、七日から撫順でそれ〳〵上映されることになつた

パテー倶樂部例會

大連パテー倶樂部では明廿五日午後六時半から山縣通土建協會にて關西聯盟入選映畫の鑑賞を兼ねて十一月例會を開會、中川氏の「撮影に就いて」と題する講演がある

噂話

けふから「大岡政談」が上映されるので帝國館の福山隆君、得意の一壇場さて▲俄然この一篇で賣出さうともあつて四、五日來頑張つてゐる▲それもその筈で「妻この頃何だか變なのよ」で一番槍は潮田流曉君に揚がつたらしいこの水臺の鮮麗しいゴシツプが傳へられてゐるとか▲映樂館の解說陣に寶館の櫻井君が加入するとに確定し▲主任解說者が吉田館主が近く内地から招聘し西洋專門館としての陣容確立に邁進する▲東活に次いで新興キネマの來滿說のある矢先、パラマウントの發聲撮影隊が來滿して活躍し出し▲ダグラスまで飛出す騒ぎとなつて愈々滿洲も事變によつて世界映畫界の注目を集めて來た

續大岡政談解決篇

◇林不忘の原作を日活時代劇部の名トリオ——伊藤、唐澤、大河内が映畫化して好評を博してゐる續大岡政談寶像篇も好評裡に大詰の解決篇に來た、先づ伊藤大輔の脚色と監督手法は例によつて巧みな話術と原作の神出鬼沒な齋之助右近、泰軒らの興味も最も端的に浮りあげて只管に興味への展開に努めてゐるので、果然見た眼に譯もなく痛快に面白い大衆映畫となつてゐる。

◇而も伊藤大輔のメガホンと唐澤弘光のカメラと大河内傳次郎のこの名トリオが奏でるこのチャンバラ交響樂は流石に群小劍戟映畫の追從を許さぬ伊藤大輔好みの良さに間隙なく仕上げられて、全篇殆んどチャンバラで埋まり乍ら、次から次へ變化して行く鋭角的な構成によつて劍戟の面白味を申分なく煽動さして倦かさないところ、依然この名トリオは劍戟映畫の王座に位してゐる。

◇場面について細評すれば際限がない程に人を喰つた老巧な話術と一種のモンタージユである伊藤監督獨自のたゝみかけた鮮やかな手法による場面の展開に次ぐ展開を以て息をつかせず伸縮自在に事件を掻き廻して大衆の大喝采を約束づけた劍戟映畫をつくり上げてゐる。

◇配役は例によつて例の如く日活時代劇部を總動員し贅澤なキヤストと大河内傳次郎の一人三役、伏見直江の鐵火を呼び物に大衆フアンへ呼びかけてゐる、先づ今秋來、最も面白い時代劇として大受けする作品であらう【帝國館上映中】

眠れよ吾が兒

獨逸ウフア社特作全發聲映畫ルドフル・ワルター・フアイン監督、マデイ・クリスチヤン孃ハンス・ストウウエ氏主演で美はしき妻、若き妻が罪を犯し、母の名によりて許されるといふ大悲劇を扱つたものである【廿五日から常盤座特別公開】

本社特選 新棋戰(其一)

香落 三段 △塚田正夫(十八歲)
初段 ▲久松英之輔(廿一歲)

【圖は九五歩迄の局面】 ▲久松氏「持駒」ナシ

△塚田氏「持駒」ナシ

△七六歩 ▲三四歩
△六六歩 ▲八四歩
△七五歩 ▲八五歩
△七七角 ▲九四歩
△七八銀 ▲九五歩
△六七銀 ▲六二銀
△七八飛 ▲六四歩
△四八玉 ▲四二玉

【土居八段講評】 △元來棋戰は自己の作戰を明かにする事は良くない。その意味に於て塚田君は七八銀と上り飛車の態度を不鮮明にしたのは至當▲其時久松君は敵に角を引かれ浮飛車模樣に組まれては位ゐが惡い。若し敵六八角なら直に六筋の歩を突出し九筋と聯絡を保つて攻勢を採らうとの意味を以て六四歩と突いたのは至當